



このとり通信

春号

2026 No.126

発行日：2026年4月10日 編集：広報委員会 <https://www.hacsw.or.jp/>

研修管理システム「manaable（マナブル）」の利用終了について

兵庫県社会福祉士会事務局

2023年10月から利用を開始した研修管理システムmanaable（マナブル）は、費用対効果の観点から、2026年9月30日をもって利用を終了することになりました。会員の皆さんがmanaableに入力された情報は、利用終了に伴って削除いたします。

なお、特別な手続きは不要です。自動的に終了となるため、皆さんにご対応いただく必要はありません。今後の研修管理や申し込み方法についての詳細は、追ってお伝えいたします。

突然のお知らせで大変恐縮ではありますが、何卒ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。



役員改選 会員理事に10名 会員監事に2名が立候補

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会／選挙管理委員会

このとり通信新春号で立候補を募ったところ、会員理事に10名、会員監事に2名の応募がありました。定数と同数となったため、6月総会で信任投票を実施します。4ページに候補者の名簿を掲載しています。

近畿ブロック研究・研修大会 京都で開催されました

兵庫県社会福祉士会事務局

第33回を迎えた「近畿ブロック研究・研修大会 京都大会」が2月14日～15日に、京都市の花園大学で開催されました。テーマは「平安な世の中を目指して 未来に向けた発信を～多様性を尊重する社会正義とソーシャルワーク～」です。

「近畿ブロック大会」は、近畿の社会福祉士会が毎年持ち回りで実施しています。開催の前の週は強烈な寒気により雪が降りましたが、京都社会福祉士会の皆さんの普段の行いが良いおかげで、大会両日は好天に恵られました。

会場ではシンポジウムを熱心に聴いたり、口頭発表に質問を投げかけたりする仲間たちの姿が数多く見られました。詳細は6ページからの「特集」に掲載しています。

目次

● 研修管理システム「manaable（マナブル）」の利用終了について	1
● 役員改選 会員理事に10名 会員監事に2名が立候補	1
● 近畿ブロック研究・研修大会 京都で開催されました	1
【お知らせ】	
● 兵庫県社会福祉士会会費等引落についてのお知らせ	3
● 一般社団法人兵庫県社会福祉士会役員候補者名簿の公表について	4
● 基礎研修の春 始まります	5
【特集】	
● 近畿ブロック研究・研修大会 京都大会	6
【報告】	
● 医療的ケア児等支援者養成研修	10
● 医療的ケア児等コーディネーター フォローアップ研修	11
● 未成年後見 実践事例 ～専門職の助言から学ぶ～	12
● 第38回社会福祉士国家試験 激励と労い	13
● 独立型社会福祉士 実践報告会	14
● 『民法（成年後見等関係）等の改正に関する中間試案』に関する研修会	15
● 刑事司法ソーシャルワーク実践研修 刑事事件における更生支援計画の考え方とその実際 ～岡山での取り組みを踏まえて～	16
● つどい場 LeLien「園芸療法&笑いヨガ」	17
【ブロックインフォメーション】	
● 神戸ブロック	18
【委員会インフォメーション】	
◆ ソーシャルワーク研究委員会	19
◆ 独立型社会福祉士支援委員会	20
◆ 災害福祉支援委員会	21
【お知らせ】	
● 参加したい委員会が見つかります！	24
● Team-G 71号	25
● 防災いいな 8号	28
【研修案内等】	
● 2026年度 基礎研修Ⅰ	31
● 2026年度 基礎研修Ⅱ	33
● 2026年度 基礎研修Ⅲ	35
● オンライン研修受講時の注意事項	37
● 2026年度 スーパービジョン	41
● 2026年度 成年後見人材育成研修	43
● 2026.4.18 合格祝賀会	45
● 2026.5.13 地域包括支援センター支援委員会説明会	46
● 2026.6.10 地域包括支援センター初任者研修	47
● 2026.5.14 実習プログラム作成支援研修	49
● 2026.5.24 神戸ブロック総会	50
● 2026.5.24 阪神ブロック総会	51
● 2026.6.1～（一般）2026年度災害支援活動者養成研修	52
● 2026.6.1～（単位取得）2026年度災害支援活動者養成研修	53
● 2026.6.1～ 医療的ケア児等支援者養成研修	57
● 2026.6.20 スクールソーシャルワークを学ぶSSW研修	59
● 2026.8.29～滞日外国人ソーシャルワーク研修	60
● 2026.9.30 研究誌「兵庫社会福祉士」投稿募集	62
● 2027.1.9 社会福祉士実践発表会	63
● 委員会見学申込書	64

※ 各研修につきましては、最少催行人数に達しない場合、中止することがありますので、予めご了承くださいませようをお願い致します。

■ 自然災害による中止及びその告知について

研修開始の2時間前に研修開催場所に特別警報が発令された場合は、研修会を中止いたします。また、特別警報の発令に関わらず、台風接近や自然災害の状況をみて、研修会をやむを得ず中止する場合がありますのでご了承ください。

基準等は、本会ホームページをご参照ください。 <https://www.hacsw.or.jp/>

研修開催の中止が決定した場合は、研修開始2時間前に本会ホームページ、または本会ホームページ下部にあるFacebookに掲載します。掲載がなければ開催するものご理解ください。



2026年4月10日

一般社団法人兵庫県社会福祉士会
会長 小椋 智子

兵庫県社会福祉士会会費等引落についてのお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、兵庫県社会福祉士会の事業の推進につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

下記の通り、2026年度会費等のお引き落としをさせていただきますので、お知らせいたします。ご不明な点がございましたら下記担当までお問い合わせください。

敬具

記

2026年度 兵庫県社会福祉士会年会費

1. 引落日 2026年5月27日（水）
2. 引落金額 17,121円
内訳：兵庫県社会福祉士会年会費 17,000円
引落手数料121円（110円×消費税10%）

2026年度 ぱあとなあ兵庫名簿登録料 ※名簿登録者のみ

1. 引落日 2026年6月29日（月）
2. 引落金額 10,121円
内訳：ぱあとなあ兵庫名簿登録料 10,000円
引落手数料121円（110円×消費税10%）

※引落の前日までに、ご指定の口座へご入金いただきますようお願いいたします。

※預金通帳欄の摘要欄には、「DF.ヒョウゴフクシ」または「ミツビシUF」ファクタ」と印字されますのでご承知おきください。

※口座登録されていない方には、別途請求いたします。

お問合せ

一般社団法人兵庫県社会福祉士会 事務局 担当／中村・北野
TEL：078 - 265 - 1330 E-mail：syadanhyogo@hacsw.or.jp



一般社団法人兵庫県社会福祉士会役員候補者名簿の公表について

2026年2月20日

会員各位

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会
選挙管理委員会 委員長 谷口 智昭
委員 中山 緑
委員 村松 紀子

2026年度及び2027年度の役員選出について「一般社団法人兵庫県社会福祉士会 役員選出に関する規則」に基づき会員理事・会員監事立候補者の公募を行ったところ、会員理事については公募定数10名に対し立候補者10名で定数と同数の結果となり、会員監事についても公募定数2名に対し立候補者2名で定数と同数の結果となりました。

そこで、役員候補者名簿を公表いたしますので、ご確認いただくとともに、6月総会において信任投票により選出いただきますようお願い致します。

記

1. 会員理事 定数 10名 立候補者 10名

【会員理事立候補者】 届出順

No.	氏名	勤務先名称	現住所地
1	藤井 真人	宝塚市社会福祉協議会	猪名川町
2	岡本 和久	神戸市こども家庭センター	西宮市
3	寺田 順一	社会福祉法人揖南福祉会 サルビアの家	姫路市
4	榎本 昌起	えのもとソーシャルワーク事務所	神戸市
5	福井 良江	神戸市教育委員会	姫路市
6	小椋 智子	社会福祉法人ゆたか会	神戸市
7	段 真奈美	平成医療福祉グループ 西宮回生病院	芦屋市
8	永田 三輪	特別養護老人ホーム六甲の館	神戸市
9	森保 純子	森のすず社会福祉士事務所	明石市
10	近藤 健太	神戸市役所	西宮市

2. 会員監事 定数 2名 立候補者 2名

【会員監事立候補者】 届出順

No.	氏名	勤務先名称	現住所地
1	塩尻 点	社会福祉法人くすのき会 播磨園	上郡町
2	土谷 長子	皇學館大学	尼崎市

以上

※ 詳細については、6月総会議案集に各立候補届及び推薦書を掲載いたしますのでご確認ください。



基礎研修の春 始まります

兵庫県社会福祉士会事務局

全国の社会福祉士会共通の「生涯研修制度」は、社会福祉士である会員が段階的・計画的なスキルアップを目指して自己研鑽を積んでいくことを支援する制度です。

「生涯研修制度」の課程は【基礎課程】と【専門課程】から構成されており、【基礎課程】は入会して最初に受けていただきたい研修課程です。基礎研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの3つの研修からなり、社会福祉士として必要な基礎知識を3年間（※最短）かけて学んでいきます。課題レポートも集合研修もたくさんありますが、仲間とともにじっくり楽しく学べます。31～36ページに開催要項を掲載しています。

基礎研修Ⅰ：社会福祉士としての自覚を深め、実践の基礎となる「価値・知識・技術」の概要を学びます。

主な内容：会の歴史や倫理綱領、共通基盤の必要性

基礎研修Ⅱ：社会福祉士として共通に必要な実践の基礎的知識や技術を学びます。

主な内容：倫理綱領や行動規範をふまえた実践の理解、共通基盤と実践との関係、ソーシャルワークの展開過程、スーパービジョンの理解

基礎研修Ⅲ：基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの一連のカリキュラムの最終課程となっています。

主な内容：権利擁護実践の基礎、ソーシャルワーク理論をふまえた援助システムの理解、地域福祉システムと実践の関係、スーパービジョンの体験

■ 認定社会福祉士の研修単位が取得できます

基礎研修Ⅰ～Ⅲまでを、Ⅰの初回受講年度から6年度以内に修了することで、認定社会福祉士の認定申請に必要な共通専門課程10単位が取得できます。本会の専門研修のなかには、基礎課程の修了が受講要件となっているものもあります（成年後見人材育成研修など）。

Special feature

特集

近畿ブロック研究・研修大会 京都大会

兵庫県社会福祉士会事務局

仲間の実践に触れる学びの場

京都市の花園大学を会場に2月14日～15日に開かれた「近畿ブロック研究・研修大会 京都大会」。1日目は、シンポジウムならびに分科会での口頭発表があり、先進的な実践に触れる学びの場となりました。

今大会では口頭発表に4名が採択されました。兵庫県社会福祉士会からも1名（テーマ「兵庫県社会福祉士会における倫理綱領伝達研修の現状と課題」）が選ばれました。

2日目の午前中には、自由企画分科会が開かれ、滋賀県社会福祉士会、奈良県社会福祉士会、兵庫県社会福祉士会が担当しました。本会は「ヤングケアラー相談支援を通して、ソーシャルワークの力を感じる」と題した分科会を開催しました。

午後からの記念講演は、「仏教が示す多様性～平安な未来を目指して～」と題し、花園大学特別教授の佐々木閑氏から今後のソーシャルワーク実践の方向性について参考になる講演をいただきました。

本会の口頭発表と自由企画分科会をレポート

参加した会員の皆さんに、口頭発表と自由企画分科会、懇親会の様子をレポートしてもらいました。

口頭発表

テーマ 「兵庫県社会福祉士会における 倫理綱領伝達研修の現状と課題」

報告：大庭 絵里

発表者：小椋 智子（本会会長）
共同研究者：岩西 太一、榎本 昌起、
段 真奈美、寺田 順一、
大原 直美、近藤 健太、
永田 三輪、中山 貴之、
西野 佳名子、福井 良江、
中村 美香

職業倫理に基づく力の醸成へ

2025年度に実施された倫理綱領伝達研修の講師養成研修修了者を対象にした意識調査の結果や、倫理研修を通して目指していく本会の方向



性などについて、小椋さんが壇上で発表されました。

その話からは「研修を実施して内容を伝えればそれで良しではなく、受講者に職業倫理や行動規範が浸透し、日々の業務に置き換えられるようにすること。倫理を意識した実践のできる社会福祉士を育成すること。会員一人ひとりの中に倫理に基づく実践の力を醸成すること」を目標としている様子がしっかりと伝わってきました。

自由企画 分科会

テーマ 「ヤングケアラー相談支援を通して、 ソーシャルワークの力を感じる」

報告：岡本 和久

登壇者：コーディネーター 胡中 智礼（兵庫）

シンポジスト 北村 由起子（奈良）、坂田 由里（京都）、上村 文子（滋賀）

現状と課題、展望をめぐり意見交換

近年、社会福祉士会において取り組みが進んでいる「ヤングケアラーへの支援」をテーマに、近畿圏のヤングケアラー相談窓口などで活躍されている社会福祉士の方々と、支援の現状と課題、ソーシャルワークの観点からの展望について情報共有や意見交換を行いました。分科会には60名以上の方々が参加されました。



写真は左から、胡中氏、北村氏、坂田氏、上村氏

早期支援・早期介入の重要性

兵庫県社会福祉士からは「兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口」統括の胡中氏がコーディネーターとして登壇し、ヤングケアラーの概況や兵庫県が取り組んでいるヤングケアラー支援の実情について報告しました。

胡中氏は、ヤングケアラーは複数の要因が複雑に絡み合い、唯一無二のようなケースも多いことや、心身への影響から学力低下や対人関係の薄さ、自己肯定感の低下や孤立のほか、「8050」へとつながるリスクがあると指摘。早期介入・早期支援が重要だという問題提起をされました。

家族全体を見る視点が大切

北村氏からは、令和7年7月に開設された奈良県の相談窓口は奈良県社会福祉士会に委託されていること、子ども家庭支援委員会の10名の委員（SSW、SC、独立型等）で運営していること、事務所は設置せず、相談員はスマートフォンにアプリをダウンロードして対応していることが報告されました。今後の支援体制づくりに向けては、地域のハブとしての役割を果たすこと、家族全体を見る視点が大切だと考えていることなどが語られました。

話や思いを聴き、受けとめる

坂田氏は、京都府家庭支援総合支援センターが令和4年4月に開設され、京都府母子寡婦福祉連合会に委託されていると紹介。坂田氏はコーディネーターとして活動されており、地域でヤングケアラーに気づいたときは、まずはしっかりと話や思いを聴き、受けとめた上で相談支援をしていること、家族を責めないことや安心感へとつなげること、日常的に挨拶などの声掛けをすること、「何か解決方法がないか、一緒に考えないか」と提案することが大切であると指摘されました。また、人と環境の相互作用で生じる「生活のしづらさ」「生きづらさ」について、環境調整と個人のエンパワメントから支援を行うこと、ケアと自己実現の共生について実践を重ねていくことも、ヤングケアラーの支援において社会福祉士が担う大切な視点であると話しました。



県と市町連携 公民も役割分担

上村氏は、滋賀県「子どもの育ち学び支援課」のコーディネーターとして活動。県内19市町を巡回し、市町と連携し、市町の支援状況をアセスメントしています。滋賀県のヤングケアラー支援体制の特徴としては、公民で役割分担している点を挙げ、県内2カ所のNPO法人にヤングケアラー支援活動を補助して展開していると述べられていました。また社会福祉士は、人と人をつなぐ、つむぐ役割であり、家族をまるごと支援すること、どの目標に向かって、いつ誰が何をどうするかを具体化する役割も大切だと指摘されました。

その後のシンポジウムでは、会場との質疑応答があり、ヤングケアラーへの適切な支援やアプローチについて、議論が深められました。

支援をカスタマイズ 地域とつながる

まとめとして、ヤングケアラーの家族は、子どもはもちろん、保護者も保護者なりの困難さを抱えていること。また、保護者が改善できない環境を理解し、家族に寄り添う支援が大切なこと（ミクロレベル）、支援をさまざまな関係機関につないでいくこと（メゾレベル）、さらに地域による違いを理解し、支援をカスタマイズして地域とつながる活動が大切なこと（マクロレベル）、社会福祉士としては、相手の状況に合わせていくつもの引き出し（提案や助言）を持つことの重要性を確認しました。

最後に胡中氏から、今回はヤングケアラー支援というテーマではあったが、社会福祉士にとってそれぞれの分野に共通するものであり、それぞれの実践に生かしてほしいとの発言があり、シンポジウムが締めくくられました。

懇親会

懇親会のクイズ大会 全問正解で優勝！

報告：永田 三輪

1日目の終了後、花園大学内のカフェテリアで開催されました。約100名の参加がありました。ビュッフェ形式でのお料理とドリンクの提供に加え、各府・県士会からそれぞれ思い入れのある日本酒の差し入れもあり、舌鼓を打ちつつ陶然としつつ、他の参加者と和気あいあいと話をしました。クイズ大会では私のいるチーム（兵庫3名・京都2名）が全問正解の優勝を飾りました！各府・県士会のPRタイムもあり、他では聞けない「そうなんだ……」という話が聞け、有意義な時間となりました。

来年の近畿ブロック研究・研修大会は2027年2月6日～7日に滋賀で開催予定です。次回もみんなで盛り上げていきましょう～！



兵庫県社会福祉士会のPRタイム



優勝賞品はヒラヤコーヒーのスティックケーキ

医療的ケア児等支援者養成研修

兵庫県社会福祉士会事務局 胡中 智礼

開催日	前期 2025年6月1日～30日 後期 2025年11月1日～30日
修了者数	前期345名 後期185名 合計530名
開催方法	オンデマンド配信
講師	高田 哲 氏 (神戸総合療育センター診療所長/神戸大学名誉教授) 常石 秀市 氏 (医療福祉センターきずな院長/兵庫県医療的ケア児支援センター長) その他講師やプログラムについては、このとり通信2025夏号p9を参照

研修概要

新カリキュラム 「母子保健」も

本研修は、医療的ケア児及びその家族が地域において必要な支援を受け、地域で安心して暮らしていけるように、国の定めるカリキュラム（「総論」「医療、保健」「福祉、保育、教育、労働」「連携」「ライフステージにおける支援」合計5科目）に基づいて支援者を養成するものです。

2025年度からは新カリキュラムに伴い、「母子保健」や「災害対策支援」「きょうだい児支援」などが加わり、県内の医療・福祉・行政分野で活躍する17名の講師がそれぞれ、自身の経験に基づき具体事例などについて解説しています。

2024年度に引き続き今回も前期と後期の2クール実施しました。

所感等

県内の修了者 2,300名を突破

2025年度より研修時間が合計15時間となり、長く大変なオンデマンド研修になりましたが、今回も多くの方が修了されました。そして、当該研修の県内修了者は2,318名になりました（2018年度から累計）。そのうち、医療的ケア児等コーディネーター養成研修まで進み修了された方は1,010名（同上）ですが、コーディネーター養成研修の受講希望者も多く、会場定員の関係から希望者全員に受講してもらうことが難しい状況が続いています。

コーディネーター養成研修の修了者にはフォローアップ研修＝次ページ参照＝の機会がありますが、支援者養成研修の修了者にもそのような機会が必要なのではないかと思えます。具体案は定まっていませんが、何らかの提案のある方は兵庫県社会福祉士会事務局までお知らせください。

医療的ケア児等コーディネーター

フォローアップ研修

兵庫県社会福祉士会事務局 胡中 智礼

開催日 2026年1月22日
参加人数 82名
開催方法 Zoomによるオンライン

研修概要

判断に迷う場面 私なら、他者なら、どうする？

医療的ケア児等コーディネーター養成研修の修了者を対象に、社会資源の理解とネットワークの構築を進めるために毎年1回開催しています。

今回は「事例（テーマ）を通して考える自分の価値観、他者の意見」と題し、判断に迷う場面に出くわした際、自分や他者がどのように考えるか、どのような判断をするかを考え、意見交換をしました。

また、当該研修の申込特典として、「令和7年度医療的ケア児等支援者養成研修」の動画を1月10日～2月28日の間視聴できるようにし、89名の視聴希望がありました。

所感等

災害対応ゲームの手法活用 4つのグループワーク

今回は阪神・淡路大震災や能登半島地震が起きた1月の開催ということもあり、災害時の対応も意識し、災害対応ゲーム「クロスロード」の手法を用いて、判断に迷う事例（「情報の取り扱い」「仕事と家族」「虐待の疑い」「気管切開の是非」）をもとに、グループ内で意見交換をしてもらいました。2時間で4つのグループワークを行うというタイトなスケジュールであり、オンラインでクロスロード的なことを実施するのはこの研修では初めてだったため、難しい側面もありましたが、参加者の皆さんにはしっかりと意見交換を行ってもらえました。

アンケートでは「『誰かの立場になって考える』『自分だったらこう考える』というように立ち位置を変えて物事をみることは、固定観念を取り除く良い勉強になりました」「その人の立場になるという経験と、医療的ケア児等コーディネーターとしてどう支援するかという検討を同じ内容で考える、これまでになかった研修でした。確かにモヤモヤする終わり方ではあったものの、現実的だなと考えさせられました」など、悩みながらもしっかりと取り組んでもらえた様子がかがえました。

未成年後見 実践事例 ～専門職の助言から学ぶ～

ぱあとなあ兵庫 植田 京子

開催日	2026年1月24日
参加人数	104名
開催方法	Zoomによるオンライン及び会場
講師	曾我 智史 氏 (尼崎駅前法律事務所・弁護士、社会福祉士) 田中 究 氏 (兵庫県立ひょうごこころの医療センター・名誉院長、医師) 原田 定道 氏 (ぱあとなあ兵庫未成年後見部会・社会福祉士) 山縣 恒実 氏 (ぱあとなあ兵庫未成年後見部会・社会福祉士)

研修概要

「共同親権」「心の支援」 理解深める

1. 講義「離婚後の共同親権について」

これまで単独親権のみであったが、民法改正により、父母は共同親権を選択できるようになった。父母双方が離婚後も子の利益のために適切な形で養育に関わり、責任を果たすことについての解説。共同親権のときに生じた問題への対応。

2. 創作事例「未成年者兄弟への支援をとおして」

- ①未成年者兄弟と保護者(若年者)の家族への未成年後見人としての支援活動
- ②グループワーク
- ③専門職(弁護士、医師)よりの助言

3. 講義「未成年者のこころの理解、支援方法」

ライフステージ(乳児期、幼児期、学童期、青年期、壮年期)の特徴と心理的理解をもとに、事例にもとづくヤングケアラーの逆境体験が及ぼす心身への影響、回復のために必要な支援(治療)の方法。

所感等

盛りだくさんの内容 アンケートも好評価

本研修は会場及びオンラインでの研修でしたが、講師、事例紹介者、スタッフの協同により開催することができました。研修内容は講義、事例紹介、グループワーク及び助言と盛りだくさんでした。参加者アンケートでは、「共同親権および親権の概要が理解できた。事例紹介が興味深く参考になった。ヤングケアラーの心理的リスクが理解できた」「先生方の講演が素晴らしかった。提供いただいた事例についても考えさせられることが多く、有意義なディスカッションができた」といった評価をいただきました。

今後の研修についても「基礎的なことの学習はもちろんですが、今日のような事例紹介や検討もやりながら学びたい」「今回の続きのような研修を期待します」との意見をいただきました。改めて社会福祉士未成年後見人として、子どもの健やかな成長に資する役割を担えるよう研鑽を積み、支援の輪(ネットワーク)の構築に取り組んでいきたいと思えます。



第38回社会福祉士国家試験 激励と労い

国家試験対策委員会 鈴木 祐希

開催日 2026年2月1日 8:00~9:30 14:30~16:00

参加人数 12名（激励6名、労い6名）

開催方法 会場での実施

実施内容

声かけ毎年実施 啓発チラシも配布

新カリキュラムになって2回目の国家試験でした。今年は会場が一部変更になりました。当日朝8時から試験会場の最寄りの駅前で、不安や緊張の中で試験会場に向かう受験生を激励しました。14時30分からは試験を終えて開放感に浸る受験生に対して、会場近くで労いの声かけをするとともに本会の啓発チラシを配布しました。

この激励と労いは、国家試験対策委員会として毎年実施しています。他の団体も試験会場でチラシ配布等を行っていた中、兵庫県社会福祉士会としても存在感を発揮する活動ができました。

所感等

横断幕を見て「頑張ってきます！」

講座受講生や大学での講座受講生が、横断幕を見て「頑張ってきます！ 寒い中ありがとうございます！」と声をかけてきてくれました。会場が分かりにくく委員が行き方を案内すると「教えてもらい助かりました！ 行ってきます！」と試験会場へ向かう人もいました。最寄り駅を降り立った受験生の皆さんの引き締まった表情に、資格取得という目標の重さを改めて実感しました。

新カリキュラム等で緊張や不安がある受験生に対し、委員会としてしっかりした活動が実施できたと思います。また、労いの際には理事の皆さんにもご参加いただき、受験生に本会啓発チラシ約400部程度を配布することもできました。今回の活動を受けて、1人でも多くの人たちに本会に関心を持ってもらい、入会につなげることができたらと思います。



独立型社会福祉士 実践報告会

独立型社会福祉士支援委員会 樹下 和幸

- 開催日 2026年2月11日
 参加人数 43名（会場19名、オンライン24名）
 開催方法 Zoomによるオンライン及び会場
 講師 実践発表者
1. 岐阜県社会福祉士会 青葉と風の相談室 近藤 初美 氏
 2. キクヤ株式会社葬祭部 葬祭コーディネーター 岩木 太一朗 氏
 3. 曹洞宗東漸寺住職 不破 一浩 氏

実施内容

人生の最終章に関わる社会福祉士の実践

それぞれが実践発表を行い、グループワークでは参加者自身の実践について振り返る機会にする。

13:30	開会・挨拶
13:40～14:10	近藤氏「終活活動をしたい」
14:10～14:55	岩木氏「社会福祉士が解説する葬儀と終活」
14:55～15:35	不破氏「社会福祉士住職としての活動」
15:45～16:30	グループワーク（事例より）
16:30～16:45	まとめ・写真撮影、閉会

所感等

三者三様 多彩なソーシャルワーク展開

近藤氏は、病院のソーシャルワーカーとして勤務していた頃から心に残り続けていた「人生の最終章をそばで支えること」「生きることを考えること」「これまでとこれからを繋ぐ」ような終活活動を実践したいという想いで独立されています。ACPの啓発、終活に関する個別相談、将来的には任意後見人として活動を考えておられるとの発表でした。

岩木氏は、地域の社協、地域包括支援センターのケアマネジャーを経て、葬儀会社に転職された経歴の持ち主です。社会福祉士の視点から見たお葬式、死後手続きなど自身の経験を交えて発表されました。

不破氏は、実家がお寺で、自身も跡を継ぐまで社会福祉の道を歩み、知的障害の方や高齢者の施設で従事されていた経歴をお持ちです。独立型社会福祉士と住職は、①近似性②傾聴と共感③共通の苦悩を感じる近い実践領域にあるとの発表でした。どの方の発表も興味深く聴かせていただき、グループワークも盛り上がりしました。



『民法(成年後見等関係)等の改正に関する 中間試案』に関する研修会

ぱあとなあ兵庫 森保 純子

開催日 2026年2月21日
参加人数 129名
開催方法 Zoomによるオンライン及び会場
講師 星野 美子 氏 (日本社会福祉士会 参事、社会福祉士)

研修概要

改正を踏まえ社会福祉士として実践すべきこと

本研修は、会場集合(29名)とZoom配信(100名)によるハイブリッド開催であった。成年後見制度の今後の在り方については、法制審議会において議論が重ねられ、中間試案の取りまとめとパブリック・コメントを経て、令和8年2月12日に「民法等(成年後見等関係)の改正に関する要綱」が採択された。また、本要綱に対して日本社会福祉士会は会長声明を发出している。

講義では、当該要綱案の議決までの流れの解説に加え、日本社会福祉士会がパブリックコメントに対して提出した意見の取り扱い、今後の動向および社会福祉法の改正に関する話題に触れつつ、社会福祉士に求められる実践について講義がなされた。まとめとして、これまでの実践を振り返り確認すること、地域の仕組みづくりへのコミットメントを検討すること、さらに社会福祉士が関わるあらゆる領域・場面とつながることを通して、社会福祉士に寄せられる大きな期待に対し、力を合わせて取り組む必要性が示された。

所感等

新しい制度とソーシャルワーク専門職の責務

成年後見制度は開始から26年目を迎えるが、今回採択された要綱案には「終われる後見」「類型の一本化」など、現行制度から大きく変更される新たな制度像が示されている。より一層、本人の意思決定支援が重視されるとともに、制度利用中および利用終了後も途切れることなく必要な支援を受けながら暮らせるよう、地域や専門職同士の連携が重要であることを確認する機会となった。

成年後見制度における代理権行使は、ときに本人の力を発揮する機会を奪う側面もある。新制度の下では、社会福祉士は利用者一人ひとりの状況やニーズを踏まえ、次につながる支援チームへの移行も見据えて活動することが求められる。暮らしやすい地域社会の実現に向け、ぱあとなあ会員が自己研鑽を重ねソーシャルワーク力を発揮することに加え、兵庫県社会福祉士会およびぱあとなあ兵庫が地域の中核機関や後見支援センターと連携し、会員を支える役割を果たすことが重要である。



刑事司法ソーシャルワーク実践研修 刑事事件における更生支援計画の考え方とその実際 ～岡山での取り組みを踏まえて～

更生支援委員会 副委員長 中村 幸恵

開催日 2026年2月22日
参加人数 28名
開催方法 会場での実施（兵庫県福祉センター）
講師 尾崎 力弥 氏
（岡山県社会福祉士会副会長、岡山パブリック法律事務所副所長など）
嶽崎 貴史 氏
（岡山県社会福祉士会リーガルソーシャルワーク委員会委員長など）

研修概要

基本的理解と支援のスキルアップを図る

犯罪をした知的・精神障がい者や高齢者等への支援（フォレンジック・ソーシャルワーク）について基本的理解を深めるとともに、支援のスキルアップを図ることを目的とする。岡山モデルとして先駆的な取り組みをされている講師による講演・シンポジウムの後、事例グループワークを通して、実践力を身につける。

所感等

「なぜこんな結果に」 人生を紐解く作業

社会福祉士と弁護士が協同する「岡山モデル」は、罪に問われた障がい者や高齢者を支援する仕組みです。「兵庫県でももっと頑張らなくては」と委員会メンバーも気持ちを新たにしました。対象者は罪を犯した者ではありますが、一人の人間として歩んできた歴史があります。更生支援計画書の作成は「なぜこういう結果になったのか」と人生を紐解いていく作業でもあったと感じました。人と向き合うことの大切さも学べた研修でした。



つどい場 LeLien 「園芸療法&笑いヨガ」

神戸ブロック 永田 三輪

開催日 2026年2月22日

開催方法 会場での実施

講師 中田 知富美 氏（園芸療法士、神戸ブロック会員）

実施内容

笑いヨガについての講話・実践
フラワーボックス作り

所感等

効果的な呼吸と癒やしの力実感

「笑いヨガ」と聞くと、私はオリンピックメダリストの浜口京子さんのお父さん、アニマル浜口さんを思い浮かべてしまい「意味なく笑うやつね……」と、思い込んでいましたが、今回受けた笑いヨガでは、ヨガの動きをする際に笑うと効果的に呼吸ができることを実感できました。笑うことにちゃんと意味があるということもわかり、すっきり腹落ちした体験でした。

また、フラワーボックス作りでは、差し方・見方・差すスピードなど、参加者によってそれぞれ違っており、出来上がった作品もどれも個性的で素敵なものとなりました。造花にも癒やしの力があるという「目から鱗」な話も聞け、大満足の講座でした。また次回も楽しい講座を企画したいと思いますので、皆さまお楽しみに～。



神戸ブロック

ブロック長 中尾 美隆

【活動報告】

2月22日 兵庫文化センター 園芸療法&笑いヨガ

2月22日のつどい場 LeLien「園芸療法&笑いヨガ」は、11名の方にお集まりいただき癒やしの講座を2本立てで受けていただきました。笑いヨガではヨガの動きをしながら笑うことを意識することで、効果的に呼吸をすることができ、スッキリ。園芸療法ではフラワーボックス作りを行いました。ほぼ同じ材料を使っているのに、仕上がりは個性が光り、どれも素敵な作品が出来上がりました。

毎月、第4月曜に定例で役員会を実施しています。

【今後の予定】

5月24日 兵庫県福祉センター 神戸ブロック総会

5月24日の神戸ブロック総会の記念講演会では、桃山学院大学准教授の南 友二郎氏をお招きして、『人口減少社会における社会福祉士の役割』という演題でお話しいただく予定です。記念講演会はブロック外の方も参加できますので、ご興味のある皆様はご予約おきください。よろしくお願いいたします。

【お知らせ】

- Facebook(フェイスブック)しています。 検索：兵庫県社会福祉士会神戸ブロック
- 神戸ブロックへのご意見などは kobe.block.fukushishikai@gmail.com までお寄せください。
- 聞いてみたい勉強会テーマがありましたら、上記の神戸ブロックメールアドレスまでお知らせください。



当委員会は、参加型の学習会を行い、実践を振り返り、ソーシャルワークの価値や理論になぞらえながら、自ら言語化・可視化を試みています。間違っただけを言ってしまうと、とがめられない安全な場所として、実践者としての力を養うトレーニングの場として、専門職が集まる学びと癒やしの場を提供しています。

今年度は来年度に行うピア・グループ・スーパービジョン機能を有する事例検討会のための基礎学習として、テキスト『福祉専門職のための統合的・多面的アセスメント』（渡部律子著／ミネルヴァ書房）をみんなで読み込んでいます。

■活動報告

- 1月8日 Zoom
コアメンバー会議（参加者6名）
- 1月13日 Zoom
アンケート分析チーム会議
（参加者3名）
- 1月18日 Zoom
コアメンバー会議（参加者6名）
- 1月18日 Zoom
委員会（参加者24名）
学習会：テキスト第4章「相談援助面接—アセスメントと相談援助面接力との関係」

■今後の予定

- 3月15日 Zoom
委員会・学習会（共通テキスト第5章）
- 4月26日 兵庫県福祉センター
キックオフ会

■参加者の報告

テーマ：第3章「アセスメントと援助のプロセス」（11月16日）

今回は、援助プロセスの中でも、“アウトリーチ”についてグループワークで重点的に議論を深めました。論議の中で、出会いから情報収集、生活再建の協力者探し、他機関への紹介まで、アウトリーチの準備

から一応の“終結”に至るプロセスすべてで「その人が生きてきた道」「意向」「これから」を一番先に考え、伝えていくことを重視したいよね！という言葉に感銘を受けました。困難事例にも数多く遭遇するアウトリーチ活動ですが、バイステックの7原則などを基礎に「安心しやすい関わり」を目指していきたいな、と思います。

（記・堀田圭佑）

テーマ：第4章「相談援助面接—アセスメントと相談援助面接力との関係」（1月18日）

昨年春より、当委員会に参加しております。日頃より、対人援助の実践においては、さまざまな理論やアプローチモデルを身につけておくことが重要であると感じてきました。しかし実際には、理論やアプローチは非常に多岐にわたり、それらを体系的に理解し、適切に活用できているかと振り返ると、必ずしも十分とは言えませんでした。

援助を必要とする人々に対し、最適な支援を提供していくためには、専門職として学び続ける責務があると私は考えています。こうした思いが動機となり、当委員会における活動内容を知る中で、自身の援助技術をブラッシュアップする場としてふさわしいと感じ、入会をしました。現在は、テキストを教材に、日々の実務を振り返っています。新しい用語が出てくるわけではないにもかかわらず、さまざまな視点から自身の関わり方や、その深度が見えてくる点が非常に興味深く感じられます。また、本会では「発言に対して意見や否定をしない」という約束のもと進められており、安心して日頃の仕事を振り返ることができる貴重な機会となっています。「たいていのことは身につけている」という思い込みに気づき、それを率直に吐露できる場合は、私にとって癒やしの場でもあります。今後も、社会福祉士らしさを十分に発揮できるよう、エネルギーチャージの場として当委員会を活用していきたいと考えています。

（記・マドフォ恵）

■活動報告

- 2月2日 Zoom オンライン
定例会
- 2月11日 兵庫県福祉センター
実践報告会（3名発表・グループワーク）
- 2月26日 Zoom オンライン
困りごと整理プロジェクト
定例会
- 3月19日 阪神友愛食品
企業見学会（障害者雇用の先進的取り組み）

2025年度実践報告会は、同日午前の障がい福祉委員会主催「障がい者の意思決定支援」と協働で開催しました。企画段階より会場設営やハイブリッド方式での開催、開催告知を互いの関係団体・事業所等にも行い、ともに当初見込みを上回る参加者が受講されました。

困りごと整理プロジェクトは、今年度4回定例会が行われ、障がい者分野における困りごとの中から6項目に絞り込み、次年度に行うソーシャルアクションを明確化しました。

■今後の予定

- 4～6月 Zoom オンライン
定例会
福祉センター
困りごと整理プロジェクト
定例会
- 7月11日 福祉センター
独立開業セミナー

7月11日 独立開業セミナー開催決定！

皆さんの独立マインドを形にしてみませんか。

独立型社会福祉士として開業するためのノウハウをお話しします。

許認可の提出書類、税制面や帳簿の作成など会計士からの解説もあります。奮ってご参加ください。

■お知らせ

独立型社会福祉士支援委員会は、主に「独立する前のサポート」をするための委員会です。

「独立してもやっていけるのかな？」「独立するためにはどのようにすればいいのかわかりたい」など、これから独立を考えておられる方の不安や想いに寄り添って我々委員がサポートします。

すでに独立されている方も、独立型社会福祉士のソーシャルアクションを共に体験したり、独立までの道を振り返ったりして、これから独立を目指す方々へのサポートをしてみませんか。

■活動報告

1月17日 イベント出展
「ひょうご安全の日のつどい」に出展

神戸市のHAT神戸・なぎさ公園で開かれた「ひょうご安全の日のつどい」の「交流ひろば」に昨年度に引き続き、ブースを出展した。委員会メンバー10人が参加し、個別避難計画の作成についてのパネル展示を行った。



また、「100均グッズ」で「携帯トイレ」を簡単に手作りできるコーナーを設け、完成した携帯トイレを持ち帰ってもらった(28~30ページの「防災いいな」参照)。多くの人を訪れ、200個用意したトイレキットが全てなくなった。

ブース前では、防災意識についてのアンケートを実施。「避難場所を知っていますか？」の質問では79%が、「災害時について家族で話し合ったことはある？」の質問では82%が「はい」と答えた。



2月2日、6日企画協力
兵庫県・市町の意見交換会に協力

災害時の避難体制や個別避難計画づくりに関する兵庫県主催の意見交換会が開かれた。2日は兵庫県福祉センターを拠点としたオンライン方式で、6日は県災害対策セ

ンターでの集合形式で行われ、県内市町や関係団体の担当者のほか、委員会メンバーら5人も進行役や記録係として参加した。

県と明石市、丹波市(2日)、姫路市(6日)が、それぞれの取り組みについて報告。その後は西野委員長が進行役となり、「避難支援実施者の確保について」「自主防災組織との協力について」といったテーマごとに数グループに分かれて、議論を交わした。

3月11日 オンライン
定例会

2025年度の振り返りと2026年度の実施計画について

■今後の予定

5月6日 オンライン
定例会

6月1日 兵庫県福祉センター
認証研修「災害支援活動者養成研修」オンデマンド運営(7/24まで)

7月1日 オンライン
定例会

7月25日 兵庫県福祉センター
認証研修「災害支援活動者養成研修」オンライン運営

8月2日 兵庫県福祉センター
定例会(集合)&「災害に強いSW養成研修」運営&懇親会

11月4日 オンライン
定例会

1月17日 HAT神戸
「1.17 ひょうご安全の日のつどい」出展&懇親会

3月3日 オンライン
定例会

■お知らせ

災害福祉支援委員会は、奇数月の第1水曜の夜にオンライン会議で、また随時、集合形式で開催しています。メンバーも募集しています。お気軽にお問い合わせください。

メーリングリストのお知らせ

研修やイベント等の開催にあたり、台風等の自然災害により開催日時が変更になる場合があります。緊急のお知らせは「ひよこメーリングリスト」で発信しますので、登録しご確認できるよう、宜しくお願いいたします。

【メーリングリストに登録して便利なこと】

- ☛ メーリングリストに登録している全会員に対して、一斉に且つタイムリーに研修や職員募集等の情報を配信できます。
- ☛ こうのとりに通信への記事掲載が間に合わないなど、一部の情報はメーリングリストでしか配信されないものもあります。
- ☛ 災害時においては、会員の安否確認や被害状況の共有もできます。

【メーリングリスト利用の注意点】

- ☛ ご登録いただいているメールアドレスへの配信が何らかの理由で5回エラーが記録されるとシステム上、自動的に登録解除となります。
- ☛ 他者への誹謗中傷、公序良俗に反するものでなければ情報配信いただけますが、メーリングリストは情報共有がメインとなるためディスカッションの場として活用することをご遠慮ください。また、メーリングリストへの投稿がふさわしい内容か配信前に今一度ご確認ください。
- ☛ メーリングリストには携帯電話のアドレスで登録している方もいるため、早朝・深夜の時間帯はなるべくお控えください。

【ひよこメーリングリスト登録方法】

会福祉士は相談援助の専門職です

希望を尊重し、家庭環境・生活環境や心身の状態などに
しながら、あなたにとって最も良い方法で支援します

新着情報
What's new

会員登録

ここをクリックする

メーリングリスト登録フォーム

入会希望の方は
こちら

1. 「兵庫県社会福祉士会」のホームページにアクセスします。

URL : <https://www.hacsw.or.jp/>

※ スマートフォンからもアクセスできます。

QR コードはこちら ⇒



2. 「メーリングリスト登録フォーム」のボタンをクリックします。

3. 登録申込フォームが開くので、会員番号・氏名等の必要事項を記入し、「送信内容を確認する」ボタンをクリックします。

4. 入力内容を確認し、間違いがなければ「送信」ボタンをクリックします。

※事務局で会員確認した上での登録となりますので、即日登録できないことをご了承ください。

障害年金

原則20歳～64歳で病気やケガで障害をお持ちの方が申請可能です！

申請にまつわるモヤモヤを解決！

手続きが難しい
手に負えない

どの位の症状なら
もらえるかわからない

他の社労士に
断られた



受給の確率を
上げたい

初回面談無料！

初回面談では申請に関わる要件・受給の見込みや金額などをお答えします

ほとんどの病気やケガが対象です

精神疾患 うつ病・双極性障害・統合失調症・知的障害・発達障害・高次脳機能障害・認知症・てんかん など

内臓疾患 がん・心筋梗塞・心不全・大動脈解離・人工血管・パーメーカー・肺炎・ぜんそく・肝臓炎・腎臓病・糖尿病・人工肛門・人工透析 など

肢体障害 脳梗塞・脳出血・リウマチ・人工関節・交通事故やケガの後遺症・切断・ヘルニア・脳性麻痺 など

眼・耳 弱視・網膜症・緑内障・難聴 など

その他 メニエール病・難病・線維筋痛症 など

～選べる4つの相談室～

本社西宮相談室
阪神西宮駅徒歩3分

☎0798-37-1223

神戸三宮相談室
JR三ノ宮駅徒歩3分

☎078-855-6288

姫路相談室
JR姫路駅徒歩5分

☎079-287-6241

大阪相談室
阪神野田駅徒歩3分

☎06-6136-3821

職員募集 一緒に働きませんか？

<対象> 社会福祉士・精神保健福祉士

<仕事内容> 障害年金申請の申請サポート

<勤務地> 西宮本社

<年齢・学歴> 不問

詳細はお問い合わせください。

初歩から障害年金のプロが丁寧に指導します。

お問合せ :0798-36-4313

牧江社会福祉士事務所 社会保険労務士法人牧江&パートナーズ

併設：兵庫・大阪障害年金相談センター
〒662-0971 西宮市和上町5番9号 西宮ビル



大口・うすき行政書士事務所

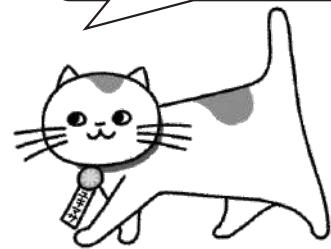
いずれかに当てはまる方は是非一度お問い合わせください！

- 福祉サービス事業所を立ち上げたい。
- 株式会社やNPO法人、労働者協同組合等を興したいと考えている。
- 認定NPO法人等の準備を考えている。
- 社会福祉法人・医療法人を設立したい。
定款変更・規則作り等、運営内容に助言がほしい。
- 保育園・認定こども園を立ち上げたい。
- 法人経営の支援をしてほしい。
- 農福連携事業に取り組みたい。
- 遺産分割、相続手続きに悩んでいる。

《業務内容のご紹介》

- ・各種公益法人（社福・医療・社団・財団）の設立手続き
- ・障害福祉サービス等の設立手続き等 ・介護タクシーの許可取得
- ・遺言書、遺産分割協議書、相続業務
- ・処遇改善加算の取得支援・運用支援
- ・その他、契約書や覚書作成の事実関係業務 等
(司法書士、社会保険労務士、税理士等と連携して業務を行うこともあります)

ご相談はこちらまで。
どこでも駆けつけます！



行政書士のマスコットキャラクター ユキマサくん

お電話はこちら！

0798-34-3999

090-9264-7594

maikuma@gmail.com

大口・うすき行政書士事務所

兵庫県西宮市本町7番15号

(阪神西宮駅南 徒歩5分 西宮えびす神社そば)

兵庫県行政書士会・兵庫県社会福祉士会 会員

※行政書士法第1条2 行政書士は、他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類、その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とする。

(行政書士は業務独占です。行政書士以外の者が他人の依頼を受け報酬を得て業務を行うと行政書士法違反になります)

参加したい委員会が
見つかります！

ブロック行事に
参加してみよう！



最近、当会のホームページを見ましたか？

知りたかった委員会・ブロック活動の紹介動画がアップされているんですよ！

委員会・ブロック

活動紹介動画

同じ志を持つ仲間と出会い、語り合い、共に形にしていく経験は、日々の実践にも確実に力を与えてくれます。兵庫県社会福祉士会は、会員一人ひとりの力で成り立つ専門職団体です。活動は「誰かがやるもの」ではなく、「私たちでつくるもの」。今回の動画は、その第一歩として、活動の“見える化”を目指しました。まずはぜひご覧ください。



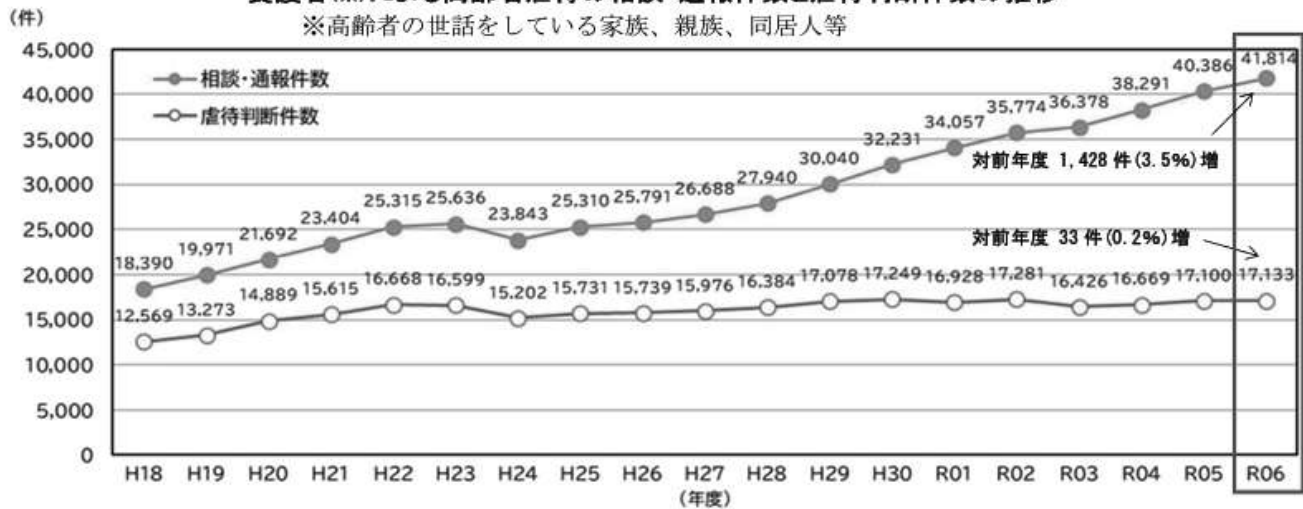
兵庫県社会福祉士会

最新データ (厚生労働省公表) からみえてくるもの

高齢者・障害者虐待対応委員会

養護者(※)による高齢者虐待の相談・通報件数と虐待判断件数の推移

※高齢者の世話をしている家族、親族、同居人等



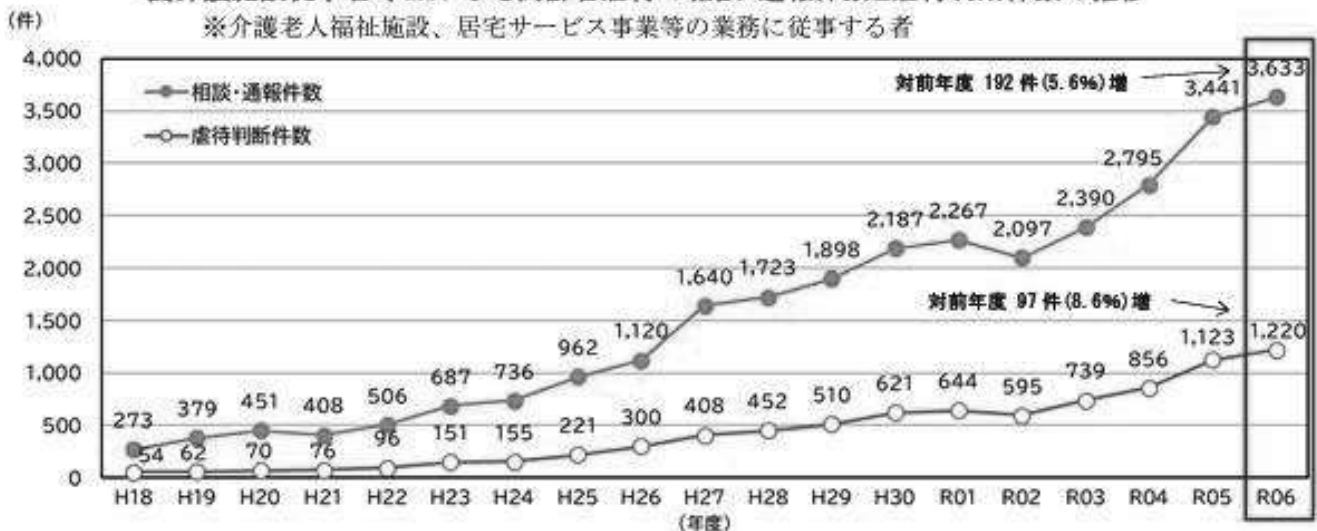
令和7年12月に厚生労働省が、令和6年度の高齢者虐待防止法に基づく調査結果を公表しました。

「養護者による虐待」の相談通報件数は、41,841件と前年比3.5%増で、12年連続増加しており過去最多となっています。一方で、虐待と判断された件数は17,133件、前年比0.2%増と横ばい傾向です。このことから、虐待に対する関心が強くなり、相談や通報が増えていることがわかります。

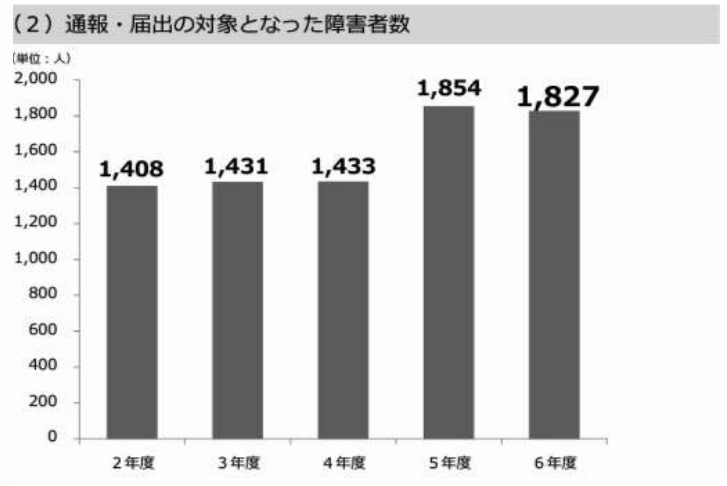
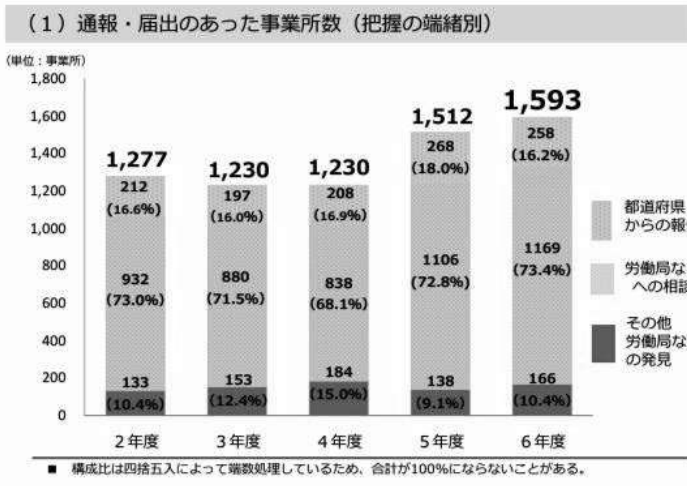
「養介護施設従事者等による虐待」は、3,663件と前年比5.6%増。虐待と判断された件数は1,220件、前年比8.6%と、いずれも過去最多で4年連続増加しています。(加戸陽子)

養介護施設従事者等(※)による高齢者虐待の相談・通報件数と虐待判断件数の推移

※介護老人福祉施設、居宅サービス事業等の業務に従事する者



【令和6年度都道府県・市区町村における障害者虐待事例への対応等に関する状況】



市町村が対応した結果、虐待と判断された件数も増加はしていますが、必ずしも虐待と判断されるとは限らないこと、施設従事者等による虐待は1件で複数の被虐待者がいることがグラフからわかります。

兵庫県から委託を受け、当委員会と兵庫県弁護士会が協働して実施している障害者虐待対応力向上研修では、虐待と判断するのは市町村の役割であること、相談・通報の重要性や日頃からの取り組みのポイントについてお伝えするようになっています。(福満奈都)

『障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修』伝達研修 12月6日(土) 13名参加

兵庫県の委託を受け委員会が主管として開催している「障害者虐待対応力向上研修」は、2025年度から国の研修を基にしています。国の研修を伝達しているプログラム、兵庫県独自のプログラムなど、研修体系を整理して確認しあい、2026年度の研修企画の展望を話し合いました。

ミニワークでは「判断に迷う事例」についてグループワークを行いました。普段は講師やファシリテーター役が多い委員会のメンバーですが、自分自身が「虐待」や「通報」について他のメンバーと意見交換する貴重な機会となり、非常に白熱し、「楽しかった!」という声も多く聞かれました。委員会内で意見を交換する機会の重要性を再認識した時間になりました。

(加戸陽子)

市町虐待担当者意見交換会+勉強会+親睦会 2月6日(金)

県下の市町虐待担当者意見交換会を行いました。会議では、「虐待対応の最終責任をもつ自治体が行政権限行使で悩む場面でスムーズかつ適切な対応ができることを目指してチームを活用する」という目的を改めて確認し、これまでの具体的な活用事例などが紹介されました。今後、契約内容について、さらに現状にそった実現可能なところを継続検討していきます。

行政との意見交換を終えた後は、弁護士会と社会福祉士会チームメンバーで、派遣された時に備えて効果的な助言ができるように、ロールプレイを中心に勉強会も行いました。新しく委員会に加わった委員には、行政に出向いて助言をするということがより具体的にイメージできたのではないのでしょうか。

この日の最後は、親睦会です。社会福祉士と弁護士が楽しく語り合いチーム力の強化を図りました。参加したF弁護士は「このような場でお互いをよく知り合うことができこそ、助言や連携の場面で自然と役割を果たし合える“阿吽の呼吸”が生まれるのだと思います。以前に比べて懇親会の機会は少なくなっていますが、大切にしていきたいですね」とおっしゃっていました。それぞれの専門性を活かした活動の充実を目指して熱く熱く語り合った夜でした!

(段真奈美)



高齢者・障害者虐待対応委員会の動き (2025年12月～2026年2月)	
日付	活動内容
【講師派遣】	
12月11日	【高齢】加東市 地域包括/ケアマネ対象
12月11日	【高齢】西播磨成年後見支援センター 市民後見人候補者対象
12月16日	【高齢】神戸市中央区 地域包括/ケアマネ/サービス事業所対象
1月14日	【高齢】神戸市全体 行政職員対象
1月22日	【高齢】姫路市 地域包括対象
2月13日	【障害】神戸市兵庫区 法人職員対象
2月20日	【高齢】西宮市社会福祉事業団 地域包括他事業所対象
2月25日	【高齢】神戸市長田区 地域包括/サービス事業所/行政対象
【専門職チーム派遣】	
1月7日	【高齢】加東市
【弁護士とのワーキング】	
2月6日	市町意見交換会
2月6日	定例ワーキング
【県委託事業】	
12月10日	障害者虐待対応力向上研修 C
12月11日	高齢者虐待対応力向上研修 B
12/1～2/28	障害者虐待対応力向上研修 AB
1/5～3/16	高齢者虐待対応力向上研修 A(第3期)
1/14～3/18	高齢者虐待対応力向上研修 C(第2期)
【定例委員会・臨時委員会等】	
1月15日	運営委員会・定例委員会
【委員研修 その他】	
12月6日	委員会内伝達研修 (障害者虐待対応国研修内容の伝達)
【相談員派遣】	
毎月第1・3・5 火・木曜日	兵庫県弁護士会主催 「高齢者・障害者のための弁護士 電話法律相談」

委員会活動紹介動画 当会ホームページにて 絶賛公開中!!



おすすめBOOK 『おばあちゃんが、ぼけた。』



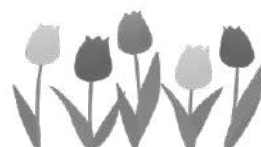
村瀬 孝生 著
理論社 発行
2007年2月25日 発売

「宅老所」で働く著者による認知症高齢者との日々をユーモラスに描いた一冊。

「認知症とは」とか「高齢者とは」といった話ではなく、その人自身のことをあるがままに受け入れる(想像する)ヒントを与えてくれます。笑い要素多めではありますが、ピリッと窘めてくれる内容も含まれています。例えば、『福祉の仕事をしている』と言うと周囲の人から褒められることが多いため「介護(福祉)=いいこと」と考えがちになってしまう。福祉職は「いいこと」をしていると錯覚してしまい、「いいこと」は否定したり疑ったりしないため、それはとても危ういことだ、と。利用者や家族と相対する際、気を付けなければならない点だと思います。また、「食べる」「出す(排泄)」「眠る」といった日々繰り返す行為こそが大切で、無意識に行っていることほど生きることに直結している。意識しないとできないことは実はどうでもいいことなのだと、高をくくってみるのも悪くないと言ったような、捉え方・視座の高め方についての一文もあり、時折ハッとさせられます。

イラストも多く、平易な言葉で書かれているため中高生からでも読みやすく、笑いあり、学びありの本です。

高齢者・障害者虐待対応委員会 胡中 智礼



防災いいな 1.17



災害に強いソーシャルワーカーへの道

2026年4月10日 第8号

発行：兵庫県社会福祉士会 災害福祉支援委員会広報チーム

職場が「福祉避難所」に指定されている方も多いのではないのでしょうか？しかし、開設訓練はあまり行われていない現状があると思います。今号では、委員会の藤井真人さんに、当事者参加型の福祉避難所開設訓練について寄稿してもらいました。

障害当事者参加型の福祉避難所開設訓練—宝塚市での実践報告—

災害福祉支援委員会 藤井 真人

災害時の避難所運営において、「誰一人取り残さない」体制づくりは、私たち社会福祉士にとって重要な課題です。特に、高齢者や障害のある人など、特別な配慮を必要とする人々にとって、一般の指定避難所での生活は、大きな負担となりやすい現状があります。

こうした背景のもと、宝塚市総合福祉センターでは、2025年12月25日に福祉避難所の開設訓練を初めて実施しました。本訓練の大きな特徴は、障害当事者が参加し、実体験に基づく意見が数多く寄せられたことです。



「災害関連死」の教訓 制度化進む

福祉避難所とは、災害時において高齢者、障害者（児）、妊産婦など、一般の避難所での生活が困難な人々を受け入れるための避難所です。阪神・淡路大震災では、過酷な避難所生活により体調を崩し、命を落とす「災害関連死」が大きな社会問題となりました。この教訓を踏まえ、福祉避難所の必要性が認識され、制度化が進められてきました。



写真左)住民向け学校等 指定避難所への案内掲示
(福祉避難所は災害時要配慮者専用)

写真右)居室の間仕切りテント、段ボールベッド、談話スペースの様子

90人参加 見落とししがちな視点共有

本訓練は「震度7の地震が発生し、発災3日目に市の要請を受けて福祉避難所を開設する」という想定のもと、宝塚市と社会福祉協議会が連携し、障害当事者と職員あわせて約90名が参加して実施しました。

会場では、社会福祉協議会の災害本部をはじめ、受付、居住、食事、交流などのスペースを設け、実際の福祉避難所運営を想定した配置や動線の確認を行いました。

訓練は、指定避難所において市が対象者のスクリーニングを行った後、福祉避難所へ被災者を移送するという想定でした。入口付近では、障害当事者が少しでも安心できるようにゆったりとしたBGMを流し、受付では受付票に沿って確認した後、過度な潔癖症の方は家族だけの居室へ、トイレが間に合わないことがある方はトイレ近くの部屋などへ、居室を振り分けました。

そして、生活相談員が居室を巡回し、障害当事者の状況や困りごとなどを聞き取りしました。



写真)水やお湯などのできる防災食と説明書(説明書をもとに栄養士より説明)

また、社会福祉法人連絡協議会から栄養士にも参加してもらい、防災食として炊き込みご飯、豚汁、肉じゃがなどを作りました。栄養面や調理方法の説明を交えながら、実食体験を通じて参加者の防災意識を高めました。

肢体不自由者(車いす利用)、知的障害者、ダウン症、自閉症などの障害当事者とその家族が参加したことで、受付対応をはじめ、段ボールベッドや簡易テントを実際に使用しながら福祉避難所の開設を体験することができ、運営上の課題や配慮点を具体的に確認する機会となりました。

訓練後には、参加した障害当事者から率直な意見が寄せられました。「受付では大きな声ではっきり話してもらわないと聞き取りにくい」「段ボールベッドから転落しないか不安だった」「待たされる時間が不安」「避難生活を具体的にイメージすることができた」などの声は、運営側にとって非常に考えさせられるものでした。障害当事者に参加してもらうことで、支援する側だけでは見落とししがちな視点が共有され、福祉避難所の質の向上につながることで改めて確認されました。

社会福祉士に求められる役割

福祉避難所は医療機関ではなく、被災後の生活を支える場になります。そのため、当事者の尊厳を守り、その人に合う生活を支援する視点が不可欠です。社会福祉士の専門性が強く求められています。今後は、訓練や実際の災害対応においても、当事者と共に考え、共につくる当事者参加型の取り組みを積極的に進めていくことが、災害に強い地域づくりにつながります。社会福祉士会の皆様も地元の福祉避難所をチェックしてシミュレーションしてみたいはいかがでしょうか。

命を守る「TKB」の視点



避難所生活で、汚いトイレには行きたくないのがガマンすることや水を飲むのを控えて脱水症状になることから清潔なトイレ(T)が求められています。また、冷たく偏った食事ではなく、温かく栄養のある食事・キッチン(K)、床に雑魚寝ではなく静養できるベッド(B)といった、いわゆる「TKB」を確保することが命を守る上で不可欠です。防災対策先進国のイタリアでは「TKB48」として、48時間以内にTKBを整える体制にしています。

福祉避難所では、「災害時だから忍耐で乗り切ろう」ではなく、災害時だからこそ、環境を整え生活の質を守ることが大切になります。

訓練当日「読売新聞」の取材を受け、記事が掲載されました。
<https://www.yomiuri.co.jp/local/hyogo/news/20260109-GYTNT00266/>



「携帯トイレ」使ってみました！

1月17日の「ひょうご安全の日のつどい」で紹介した「携帯トイレ」を、委員会メンバーが実際に使ってみました♪



How to Make

材料例：黒ゴミ袋 30ℓ（手ざわりカサカサタイプ）20枚入り：110円
消臭ポリ袋おむつ用（ペット用でも可） 32枚入り：110円
ペットシートワイド（45cm×60cm）4枚入り：110円
チャック袋 B6 サイズ 18枚入り：110円

- ①黒ゴミ袋をカサカサと少しずつ広げて舟形にする（地面に置いて自立するように）。
- ②ペットシートの吸水面を表にして二つ折りにし、黒ゴミ袋の真ん中にセットする。
- ③ペットシートの上に排泄する（しっかり吸収するように）。
- ④排泄後、黒ゴミ袋の口をしっかりしばる（空気を抜きながらできるだけ小さくする）。
- ⑤小さくしばった黒ゴミ袋をおむつ用（ペット用でも可）消臭ポリ袋に入れて、できるだけ小さくしっかりしばる。
- ⑥⑤を「燃えるゴミ」で廃棄する。

「100均」材料で作れる！



member's Voice

出典：YouTube『防災チャンネル_安心こちゃん』

2024年2月23日

「ひょうご安全の日のつどい」のブースでは、「携帯トイレ」の作り方を紹介し、持ち帰ってもらいました。大好評だった、この「携帯トイレ」を、委員会メンバー K（女子）が実際に家で使ってみました。

「地面に置いて自立するように…」と手触りがカサカサタイプの黒ゴミ袋を使用したものの、「床に置いて和式トイレのようにしゃがんで使うには、高齢者は大変だし、最近の子どもは和式の使い方を知らないと聞くし…」と思い、トイレに被せて使ってみました。

自宅のトイレは水の少ないタイプですが、ゴミ袋を便器に被せて端を手で押さえておくと、水に浸かることもなく、トイレで排泄するように使用できました。思った以上に簡単で普通で、拍子抜けしたように感じました。（福祉センターの水が多いタイプのトイレだと少し難しかったです。（写真上））

実際に排泄をした後、空気を抜くようにしながら、しっかりしばると、かなりコンパクトになりました（写真左）。「小」の使用だと黒ゴミ袋だけでも臭いは気になりませんが、消臭ポリ袋に入れると、さらに安心感が増しました。

今回は「小」で試しましたが、このサイズでは「大」もできるということ、少しハードルは高いですが、一度試してみようと思います。

いざという時に戸惑わないように、体験しておくということは、とても重要だと実感しました。コストも安く、コンパクトで携帯性もよいトイレ、ドライブなどにも便利だと思います。皆さんもぜひ試してみてください。（委員会 K）



【2026年度 基礎研修Ⅰ 開催要項】

主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系として実施します。
社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。
また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

1. 開催期間：2026年9月～2027年2月
2. 開催方法：ZOOMによるオンライン研修
3. 受講要件：
 - ①社会福祉士
(新規入会者、既会員でこれまでの基礎研修課程を受講されていない方、生涯研修制度「共通研修課程修了」申請をされていない方)
 - ②全日程に参加できること。(他府県での振替受講はできません)
 - ③下記事項に同意できること。(詳細は別紙にてご確認ください)
「オンライン研修の受講方法・注意事項」「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」「研修資料の著作権について」
4. 定員：100名(先着順)
※定員を超えた場合は、兵庫県社会福祉士会の会員を優先します。
5. 受講費：社会福祉士会会員 13,200円(税込) 一般(非会員) 26,400円(税込)
※別途テキスト代：5,000円(予定)
※受講費のお支払い方法等は、後日、受講決定通知にてご案内します。
※原則として、一度ご入金いただいた受講費は、返金できませんのでご了承ください。
6. 申込方法：下記の方法でお申し込みください。
【研修申込フォームURL】
<https://forms.gle/nQjza6LMwZWQWpGM8>

上記URLから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。
※自動返信メールが届いたら、申し込みが完了したとご理解ください。
※自動返信メールが届かない場合は、事務局までお問い合わせください。
7. 申込期限：2026年4月1日(水)～6月30日(火) (期限厳守)
8. 受講決定：
受講の可否は、6月下旬以降に「受講決定通知書」を郵送及びメールにてお知らせします。
必ず、本会からのEメールを受信できるようにお願いします。



9. 研修単位：

(認証研修としての基礎研修)：

基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、共通専門研修10単位を取得できる。修了年限あり(6年度以内)。

(生涯研修独自の基礎研修)：

基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、基礎課程を修了できる(専門課程10単位+生涯研修制度独自の研修・実績3.5時間分)。修了年限なし。

10. 問い合わせ先：

兵庫県社会福祉士会 事務局 中村

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3階

TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340

Mail：nakamura@hacsw.or.jp

【 2026年度 基礎研修Ⅰプログラム 】

○基礎研修Ⅰの流れ

受講申込→受講決定→①事前課題→②オンライン研修Ⅰ→③中間課題→④オンライン研修Ⅱ
基礎研修Ⅰは申込から終了までに4ステップあり、それぞれの課題及び研修を終えなければ、次へ進むことはできません。

スケジュールと研修内容	
2026年4月1日～6月30日	受講申込受付期間
2026年7月	受講決定・事前課題案内
2026年8月	事前課題提出締切 8月中旬(予定) (事前課題内容) 2,000字程度のレポート課題 日本社会福祉士会 e-ラーニング視聴3科目
2026年9月	【開催日】 オンライン研修Ⅰ 2026年9月5日(土)
2026年9月～12月	中間課題作成のための講義：実践報告会(オンライン研修) 【開催日】 2026年9月26日(土) または、2026年10月3日(土) (※任意参加) 中間課題提出締切 12月末(予定) (中間課題内容) 1,200字程度のレポート課題×6本
2027年2月	【開催日】 オンライン研修Ⅱ 2027年2月28日(日)

【2026年度 基礎研修Ⅱ 開催要項】

主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系として実施します。社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

1. 開催期間：2026年5月～2027年3月（全11回）
2. 開催実施方法：ZOOMによるオンライン研修（6回）＋集合研修（5回）
（※講義日により、会場での集合研修での実施となります。）
集合研修開催場所：兵庫県福祉センター（神戸市中央区坂口通2-1-1）
JR「灘」駅より徒歩10分、阪急「王子公園」駅より徒歩10分
阪神「岩屋」駅より徒歩15分、神戸市営バス92系統「上筒井1丁目」停留所下車すぐ
※原則として福祉センターにお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。
3. 受講要件：
 - ①基礎研修Ⅰを修了した社会福祉士
※認定社会福祉士制度の単位として単位取得希望の場合
2022年度～2025年度に基礎研修Ⅰを修了している方が対象となります。
 - ②全日程に参加できること。（他府県での振替受講可能）
 - ③下記事項に同意できること。（詳細は別紙にてご確認ください。）
「オンライン研修の受講方法・注意事項」「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」
「研修資料の著作権について」
4. 定員：80名（先着順）
※定員を超えた場合は、兵庫県社会福祉士会の会員を優先します。
5. 受講費：社会福祉士会会員 27,500円（税込） 一般（非会員） 55,000円（税込）
※別途テキスト代：5,000円（予定）
※受講費のお支払い方法等は、後日、受講決定通知にてご案内します。
※原則として、一度ご入金いただいた受講費は、返金できませんのでご了承ください。
6. 申込方法：下記の方法でお申し込みください。
【研修申込フォームURL】
<https://forms.gle/Gx7IAxYGBYfGgqpf6>

上記URLから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。
※自動返信メールが届いたら、申し込みが完了したとご理解ください。
※自動返信メールが届かない場合は、事務局までお問い合わせください。
7. 申込期限：2026年4月20日(月)まで（期限厳守）



8. 受講決定：

受講の可否は、5月初旬までに「受講決定通知書」を郵送及びメールにてお知らせします。
必ず、本会からのEメールを受信できるようにお願いします。

9. 研修単位：

(認証研修としての基礎研修)：

基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、共通専門研修10単位を取得できる。修了年限あり(6年度以内)。

(生涯研修独自の基礎研修)：

基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、基礎課程を修了できる(専門課程10単位+生涯研修制度独自の研修・実績3.5時間分)。修了年限なし。

10. 申込先及び問い合わせ先：

兵庫県社会福祉士会 事務局 中村
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3階
TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340
Mail：nakamura@hacsw.or.jp

【2026年度 基礎研修Ⅱプログラム】

	開催日	時刻(予定)	科目	開催方法
①	5月23日(土)	9:30~17:00	SW理論系科目Ⅰ	オンライン研修
②	6月6日(土)	9:30~13:00	SW理論系科目Ⅰ	
③	7月18日(土)	9:30~17:00	SW理論系科目Ⅰ (事前課題)	集合研修 (兵庫県福祉センター)
④	8月1日(土)	9:30~17:00	地域開発・政策系科目Ⅰ (事前課題)	オンライン研修
⑤	9月12日(土)	9:30~17:00	地域開発・政策系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	集合研修 (兵庫県福祉センター)
⑥	10月24日(土)	9:30~17:00	人材育成系科目Ⅰ	集合研修 (兵庫県福祉センター)
⑦	11月14日(土)	9:30~17:00	権利擁護・法学系科目Ⅰ	オンライン研修
⑧	12月19日(土)	9:30~17:00	権利擁護・法学系科目Ⅰ	集合研修 (兵庫県福祉センター)
⑨	1月9日(土)	9:30~13:00	実践評価・実践研究系科目	オンライン研修
⑩	1月30日(土)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目	
⑪	2月27日(土)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目 (事前課題・修了レポート)	集合研修 (兵庫県福祉センター)

【2026年度 基礎研修Ⅲ 開催要項】

主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系として実施します。社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

1. 開催期間：2026年5月～2027年3月（全11回）
2. 開催実施方法：ZOOMによるオンライン研修（7回）＋集合研修（4回）
（※講義日により、会場での集合研修での実施となります。）
集合研修開催場所：兵庫県福祉センター（神戸市中央区坂口通2-1-1）
JR「灘」駅より徒歩10分、阪急「王子公園」駅より徒歩10分
阪神「岩屋」駅より徒歩15分、神戸市営バス92系統「上筒井1丁目」停留所下車すぐ
※原則として福祉センターにお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。
3. 受講要件：
 - ①基礎研修Ⅱを修了した社会福祉士
※認定社会福祉士制度の単位として単位取得希望の場合
2020年度～2025年度に基礎研修Ⅱを修了している方が対象となります。
 - ②全日程に参加できること。（他府県での振替受講可能）
 - ③下記事項に同意できること。（詳細は別紙にてご確認ください。）
「オンライン研修の受講方法・注意事項」「個人情報取り扱い等に関する注意事項」
「研修資料の著作権について」
4. 定員：70名（先着順）
※定員を超えた場合は、兵庫県社会福祉士会の会員を優先します。
5. 受講費：社会福祉士会会員 33,000円（税込） 一般（非会員） 66,000円（税込）
※別途テキスト代：3,000円（予定）
※受講費のお支払い方法等は、後日、受講決定通知にてご案内します。
※原則として、一度ご入金いただいた受講費は、返金できませんのでご了承ください。
6. 申込方法：下記の方法でお申し込みください。
【研修申込フォームURL】
<https://forms.gle/5ADkCW9tCkVUVZp38>

上記URLから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。
※自動返信メールが届いたら、申し込みが完了したとご理解ください。
※自動返信メールが届かない場合は、事務局までお問い合わせください。
7. 申込期限：2026年4月20日(月)まで（期限厳守）



8. 受講決定：

受講の可否は、5月初旬までに「受講決定通知書」を郵送及びメールにてお知らせします。
必ず、本会からのEメールを受信できるようにお願いします。

9. 研修単位

(認証研修としての基礎研修)：

基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、共通専門研修10単位を取得できる。修了年限あり(6年度以内)。

(生涯研修独自の基礎研修)：

基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、基礎課程を修了できる(専門課程10単位+生涯研修制度独自の研修・実績3.5時間分)。修了年限なし。

10. 申込先及び問い合わせ先：

兵庫県社会福祉士会 事務局 中村

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3階

TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340

Mail：nakamura@hacsw.or.jp

【2026年度 基礎研修Ⅲプログラム】

	開催日	時刻(予定)	科目	開催方法
①	5月30日(土)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	オンライン研修
②	6月20日(土)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目Ⅰ SW理論系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	
③	7月25日(土)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目Ⅰ (中間課題・修了レポート)	集合研修 (兵庫県福祉センター)
④	8月22日(土)	9:30~17:00	権利擁護・法学系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	オンライン研修
⑤	9月19日(土)	9:30~17:00	地域開発・政策系科目Ⅰ (事前課題)	集合研修 (兵庫県福祉センター)
⑥	10月17日(土)	9:30~13:00	サービス管理・経営系科目Ⅰ	オンライン研修
⑦	11月7日(土)	9:30~17:00	サービス管理・経営系科目Ⅰ	
⑧	12月12日(土)	9:30~17:00	サービス管理・経営系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	
⑨	1月23日(土)	9:30~17:00	地域開発・政策系科目Ⅰ (中間課題・修了レポート)	
⑩	2月20日(土)	9:30~16:00	人材育成系科目Ⅰ (事前課題)	集合研修 (兵庫県福祉センター)
⑪	3月6日(土)	9:30~17:00	人材育成系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	集合研修 (兵庫県福祉センター)

【オンライン研修の受講方法・注意事項（2026年度版）】

オンライン研修を受講いただくにあたり、事前に準備いただきたい事項・使用機器等についてご案内いたします。

★Zoom アプリのダウンロード（Zoom 初回利用時のみ必要）

本会のオンライン研修では、Zoom ミーティングを使用します。

研修受講日より前に、余裕をもって Zoom アプリを下記 URL からダウンロードしてください。

<https://zoom.us/download> 「Zoom デスクトップ クライアント」の「ダウンロード」をクリック。

なお、研修を受講するだけの場合、Zoom アカウントの取得（サインアップ）は不要です。

★使用機器の確認

受講にあたっては、下記の機器の用意をお願いします。**原則としてパソコンで参加**してください。

- ・ ウェブカメラ：自分の顔を写すために必要
- ・ マイク：自分の声を相手に届けるために必要
- ・ スピーカー：相手の声を聞くために必要。ヘッドホンやイヤホンでも代用可。

※研修受講時に使用するパソコンに上記3点が備わっているか確認ください。

装備されていない場合は別途ご準備ください。

★通信環境の確認

スマートフォンの回線では、契約内容によっては通信上限を超える場合があることや、通信回線の混雑等でオンライン研修に参加できない可能性もあるため、光ファイバー網を使った通信回線を推奨します。
※通信環境により、講義の内容が聞こえ難くなる場合があります。安定したインターネット環境（できれば有線 LAN 接続）での受講をおすすめします。

※本研修に参加いただく際の通信料およびインターネット接続、通信機器利用に関する料金については、各自負担でお願いします。

※使用機器のアップデートなど余裕をもって行い、受講当日の機器内の環境を整えておいてください。

★事前テストについて

Zoom アプリをダウンロードしたら、事前に接続テストを行うことをお勧めします。

<https://zoom.us/test>

★その他

受講者の通信環境、通信機器の原因により、当日参加できない場合の返金はいりませんので、予めご了承ください。

■ 受講時の注意事項

1. 講義中の Zoom 設定について

オリエンテーション・講義・演習中は、原則「ビデオの開始」状態にしておいてください。
認証研修では、音声・ビデオ通信等により双方向性が担保されることが必須条件です。

2. 出席確認・修了要件について

オンライン上で出席の確認をし、事務局にて出席管理をします。

10分以上の遅刻・早退があった場合は、研修修了として認められません。

オンライン研修時の通信不良により画面が映らない、音声聞こえない場合も離席扱いになります。
長時間そのような状況が続く場合は修了できません。

**車を運転しながら・歩きながら・移動しながら・公共機関を利用しながら・商業施設や公共の場所
を利用しながらの受講は認められません。**

3. 欠席について

研修は原則、全日程の受講が可能な方を対象としています。

研修日をご確認の上、お申込みください。

※振替受講、再履修については、研修ごとに要件が設定されていますので、各研修担当者にお問い合わせください

4. 課題について

講義によって、事前課題・中間課題・科目修了レポート等があります。

原則として期日までに課題の提出がない場合や課題内容に不備がある場合は、講義出席が認められない又は修了が認められません。

詳細は受講決定時にお知らせします。Word・Excel・PDF ファイルのオンライン提出を原則とします。
講義中に、作成した事前課題等を画面共有する場合がありますので、ご了承ください。

5. 講義資料について

各講義資料は、講義1週間前を目途に指定 URL へ掲載します。

受講生各自でのダウンロードもしくは印刷をお願いします。

事務局より印刷・郵送は致しかねますのでご了承ください。

6. 受講時および研修資料に関する禁止事項

研修中、以下の事項を禁止としております。

- ・研修実施時の写真撮影、録画、録音、またはそれに準ずる行為
- ・本研修受講やご本人様の復習以外の目的での研修資料の使用

例1. 研修で使用する資料ファイルを社内外の方に共有すること

例2. 研修で使用する資料の画像などを公開すること

例3. 研修で使用する資料を複写すること

■よくある質問

Q 自宅にパソコンがないので、職場から受講してもいいですか？

A 自宅での受講を必須としていませんが、「講師の声が聞き取りやすい静かな場所であり、受講者同士の意見交換の際、声を出せる環境」をご用意ください。

他の職員の話し声や電話のコール音が頻回に聞こえてくる、他の職員が頻回に画面に映るなど、講師や受講者が集中して参加できないような環境やご自身の周りの方に迷惑をかけてしまうような環境での受講はお控えください。

Q スマートフォンで受講してもいいですか？

A 原則としてパソコンを使用してください。パソコンの不調などのトラブル時に代替的手段としてタブレットやスマートフォンでの参加（＝保険）としてご理解ください。

Q 顔を表示させずに参加してもいいですか？

A 受講されている様子を目視で確認します。そのため、「ビデオの停止」のまま受講されていますと受講確認ができませんので、研修修了となりません。

また、仮想背景の使用については制限をしますが、解像度により本人の顔が見えなくなる場合は使用を控えてください。

Q 音が聞こえない・映像が映らない・マイクが反応しないなどの不具合がある。

A 一旦 Zoom から退室し、パソコンを再起動して Zoom に入りなおしてください。

その際は事務局までご連絡ください。使用機器などのトラブルによる一時的な離席の場合、修了不可とはしませんので、ご安心ください。

Q パソコンの調子が悪い。操作がわからない。

A こちらは対応できかねますので、メーカー等のサポートセンターへお問い合わせください。

■研修資料の著作権について

本会が主催する研修では、研修に参加される方の学びを深め、研修の目的を達成するために、参加者に直接あるいはインターネットを通じてデータをダウンロードしていただくなどの形で、さまざまな研修資料（レジュメ、オリジナルテキスト、スライド、様式、PDF化された教科書の一部や論文、音声ファイル、動画ファイルなど）を配布しています。

これらの配布資料は、著作権法により著作者の権利が保護されています。したがって、著作者が明示的に許可した場合を除き、研修参加者が著作権法に認められている範囲を逸脱して再配布することや、ダウンロードサイトの URL を転送、SNS等での共有、別のサイトにアップロードするなどの方法により再配布することは、法律に抵触する可能性があります。場合によっては訴訟等に発展する恐れがあり、社会福祉士に対する社会の信用を失墜させることにもなりかねません。十分にご注意ください。

なお、レポートや論文等で著作物を使える場合およびその条件については、次のサイトをご覧ください。著作物を引用する場合は、これらの法律を順守してください。

【文化庁 よくあるご質問】

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/94093201.html>

■本会主催研修申込における個人情報の取り扱い等に関する注意事項

個人情報の利用目的

研修申込をいただく際に、名前、住所、電話番号、e-mail アドレス等の個人情報を入力いただきますが、これらの個人情報は、各研修を運営する目的以外では利用いたしません。

個人情報の第三者への開示・提供の禁止

本会では、次のいずれかに該当する場合を除き、個人情報を第三者に開示致しません。なお、業務委託先への提供の場合は第三者への開示または提供にあたりません。

1. 受講申込者の同意がある場合
2. 法令に基づき開示、提供することを求められた場合
3. 国または地方公共団体等が公的な事務を実施する上で、協力する必要がある場合であって、受講申込者の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障が出るおそれがある場合
4. 受講申込者等の生命・身体・財産・名誉を損なうおそれがあり、本人の同意を得ることができない場合
5. 統計的なデータなど本人を識別できない状態で開示・提供する場合

免責事項

・各申込期間中のシステムの不具合による、申込未確定、申込不備による申込取消については、免責されるものとします。

・当サイトからリンクやバナーなどによって他のサイトに移動された場合、移動先サイトで提供される情報、サービス等について一切の責任を負いません。

（問い合わせ先） 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会事務局
〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター 3F
TEL: 078-265-1330 FAX: 078-265-1340



2026 年度スーパービジョン開講



本会は社会福祉士の生涯学習を支援するため、社会福祉士による職域を越えたスーパービジョンを支援しています。

本会生涯研修センター主催のスーパービジョンは、認定社会福祉士認証・認定機構に登録している兵庫県社会福祉士会会員にスーパーバイザーに依頼しています（認定社会福祉士認証・認定機構 HP>「スーパービジョンとは」>「スーパーバイザー登録者一覧」参照）。

この「スーパービジョン開講」に参加して1年間6回のスーパービジョンセッションを受けることで、認定社会福祉士認証・認定機構のスーパービジョン実績2単位となります。

■ 受講対象者 下記の項目をすべて満たす者

- ・基礎研修Ⅲ修了者
- ・事前面談（対面）、スーパービジョン6回、総括面談を実施期間内に受けられる者
- ・本会とスーパーバイザーとの三者間で「スーパービジョン実施契約書」を取り交わすことができる者
- ・受講料を前納できる者
- ・受講オリエンテーションに参加できる者（初回受講者のみ）

■ 実施場所

兵庫県福祉センター内相談室等やオンライン（バイザー・バイジー間での調整）

■ 実施期間

2026 年度「スーパービジョン実施契約書」を取り交わしてから1年

■ 受講オリエンテーション（初回受講者のみ）

本会 HP から「2026 年度受講オリエンテーション参加申込書」をダウンロードし、メールにてお申込みください（5月13日必着）

オリエンテーションは下記日程から選択し参加してください。下記日程での参加が難しい場合は、上記の申込書にその旨を記載してください。

【日程】

5月16日（土）13：00～14：30

5月20日（水）19：00～20：30

5月23日（土）13：00～14：30

※会場はいずれも兵庫県福祉センター内

■ 受講料

55,000 円（うち、消費税 5,000 円）

■ 申し込み方法

【初回受講者】

- ① 本会 HP から「2026 年度受講オリエンテーション参加申込書」をダウンロードし、メールにてお申込みください。（5 月 13 日必着）
詳細情報はオリエンテーション時にお渡しします。
- ② 詳細情報を確認の上、本会 HP から「2026 年度スーパービジョン受講申込書」と「スーパーバイザーの自己チェックシート」をそれぞれダウンロードし、5 月 31 日（日）までにメールでお申込みください。

【2 回目以降受講者】

- ① 本会 HP から「2026 年度スーパービジョン開講詳細情報請求書」をダウンロードし、5 月 20 日（水）までにメールにて請求します。
- ② 詳細情報を確認の上、本会 HP から「2026 年度スーパービジョン受講申込書」と「スーパーバイザーの自己チェックシート」をそれぞれダウンロードし、5 月 31 日（日）までにメールでお申込みください。

※ 「認定社会福祉士制度スーパービジョン実施マニュアル～スーパーバイザー用～」、「スーパーバイザーリスト」は、認定社会福祉士認証・認定機構 HP であらかじめ確認してください。

各提出書類と締切日は下記の通りです。

提出締切日	提出書類	初回受講者	2 回目以降受講者
5 月 13 日	2026 年度受講オリエンテーション参加申込書	●	
5 月 20 日	2026 年度スーパービジョン開講詳細情報請求書		●
5 月 31 日	2026 年度スーパービジョン受講申込書	●	●
	スーパーバイザーの自己チェックシート	●	●

いずれの書式も本会 HP に掲載していますので、ダウンロードし、必要事項を入力してお申込みください。

■ 書類の提出先・問い合わせ先

兵庫県社会福祉士会事務局（担当：西野）

TEL：078-265-1330 E-mail：entry@hacsw.or.jp



2026年度 成年後見人材育成研修 募集要項

成年後見人等候補者を養成する研修として、成年後見人材養成研修（認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修・4日間）を下記の要領で開催する予定です。本研修の修了者は、受任候補者を養成する「名簿登録研修（1日間）」を修了し、権利擁護センターぱあとなあ成年後見人等候補者名簿に登録することになります。（※別途名簿登録料が必要です）

1. 主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会
2. 研修区分 認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修 認証番号：20180005
「分野専門（高齢）ソーシャルワーク機能別科目群 後見制度の活用（成年）2単位」
3. 研修目標 ①専門職後見人として社会福祉士が身につけるべき知識・技術を習得し、権利擁護センターにおける成年後見人としての一定の力量を確保すること。②地域で相談援助にあたる者が、成年後見制度活用の知識、技術を習得すること。成年後見人等として実務を担う社会福祉士（成年後見人等受任候補者）の養成を目的とする。

4. 開催日

	日程	※全日程受付は9:00～	開催方法
第1日目	2026年8月2日（日）	9時10分～17時00分	Zoomミーティングを使用したオンライン研修
第2日目	2026年9月9日（水）	9時10分～16時30分	
第3日目	2026年9月27日（日）	9時10分～16時30分	
第4日目	2026年10月25日（日）	9時30分～16時00分	集合研修

※名簿登録研修 2026年11月28日（土）9時30分～17時00分 ※集合研修

5. 会場 第4日目と名簿登録研修は、集合し「兵庫県福祉センター1階 多目的ホール」で開催（神戸市中央区坂口通2-1-1 JR灘駅より徒歩約10分 阪急王子公園駅 徒歩約10分）
6. 受講対象 次の要件のすべてを満たす者
 - （1）兵庫県社会福祉士会会員。または、本会と契約を交わした都道府県社会福祉士会に所属する社会福祉士。
 - （2）カリキュラムの全課程に出席できる者
 - （3）日本社会福祉士会の基礎課程を修了している者、若しくは2011年度までの日本社会福祉士会の旧生涯研修制度の共通研修課程を1回以上修了している者
 - （4）2026年4月1日現在70歳未満の者（兵庫県会員のみ）
7. 定員 50名 ※なお、受講申込者が一定数に満たない場合は、研修開催を中止することもあります。
8. 受講費 6万円（税込み）（別途市販テキスト代、約14,000円が必要となります。）
※一旦、納入された受講費は、主催者の責による場合以外は返金いたしません。
※成年後見人材育成研修の受講料です。名簿登録研修は、受講料は不要です。

第1日目から第3日目は、Zoomミーティングによるオンライン研修です。4日目は、集合研修です。

①研修の参加には「個人情報の情報の取り扱い等に関する注意事項」「オンライン研修の受講方法について」「研修資料の著作権について」各事項に同意をしていただく必要があります。別紙をご確認ください。

②研修開始前、研修中にすべてオンライン研修に変更になった場合等、受講費の支払い後は 受講費の変更、返還はありません。ご承知おきください。

9. 申し込み 下記のURLかQRコードから兵庫県社会福祉士会の研修管理システム「manaable（マナブル）」にアクセスし、「新規登録」の後、当研修にお申し込みください。
登録の手順は、兵庫県社会福祉士会のホームページに掲載しています。
<https://hacsw.manaable.com/signup>



◆申込期間 2026年4月10日（金）～24日（金）

10. 受講決定 受講決定は、あらかじめ決められた定員に基づき、兵庫県社会福祉士会にて決定します。

11. 受講可否の連絡等

- ・5月下旬までに「manaable(マナブル)」から受講の可否についての通知メールが送付されます。マナブルにログインしてご自身で確認をしていただきます。
- ・受講申込が一定数に満たない場合は、研修開催を中止することがありますのでご了承ください。
- ・受講費の納入方法、テキストの購入方法、事前課題、およびキャンセル等の扱いについては、マナブルにログインをして確認をしていただくこととなります。

12. 修了要件

研修の修了には、次の基準を満たす必要があります。

- ・面接授業の出席が100%であること（オンライン研修の場合は、画面上で出席確認）
- ・事前課題をメ切りまでに提出すること
- ・研修4日目に実施する修了評価で一定の水準を満たすこと
- ・15分以上の遅刻・早退があった場合は、その課目を欠席したものとみなす。（また、15分未満の遅刻・早退は5回で1課目に相当する欠席とみなす。

面接授業（オンラインを含む）を欠席した課目数が4課目以内（修了評価をのぞく）の場合は、1期（1年間）に限り受講期間の延長を認め、翌年度に欠席した課目を履修し修了評価にて合格することで、本研修を修了することができる。

13. 研修単位について

(1) 公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度においては、新生涯研修制度では専門課程の2単位となり、旧生涯研修制度では「専門分野別研修」となります。

(2) 本研修は、認定社会福祉士制度の研修として認証されています。

認証科目：後見制度の活用（成年）（分野専門/高齢分野、ソーシャルワーク機能別科目群）

単位数：2単位

認証番号：20180005

注：分野については、認定社会福祉の認定申請をするときに、自身の申請をしようとする分野の単位として扱うことができます。「後見制度の活用（成年）」は、高齢分野のほか、障害分野、医療分野、地域社会・多文化分野の認定申請者も各分野の単位として扱うことができます。

14. カリキュラム (1) 講義・演習等：4日間23.5時間 (2) 事前課題：指定する6科目

問い合わせ先 〒651-0062

兵庫県神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3F

兵庫県社会福祉士会 ぱあとなあ兵庫事務局 partner-jimu@hacsw.or.jp

TEL : 078-222-8107 FAX: 078-265-1340



合格祝賀会



2026年（第38回）社会福祉士国家試験に合格し、
新たに私たち社会福祉士の仲間となる皆様を、
みんなで温かく迎える会を開催します！
実際に社会福祉士ってどんなことをしているのか
社会福祉士の先輩に色々聞けるチャンスです！！
合格者の皆様、奮ってご参加ください



会員の皆様の周りで合格
された方が居られたら、
ぜひお誘いあわせの上、
ご参加ください！！

日時

2026年4月18日(土)14:00～16:30

対象

兵庫県在住または兵庫県内に職場が
ある第38回合格者・上記、合格者を
お祝いしたい関係者(先着100名)

会場

兵庫県福祉センター
1階多目的ホール(101-103)

会費

無料

申込

下記URLまたはこちらより→
お申込みください



<https://forms.gle/V7enJTmrn8GNttm3A>

問合せ・主催

兵庫県社会福祉士会

syadanhyogo@hacsw.or.jp / 078-265-1330



地域包括支援センター支援委員会

委員会説明会

Let's
meet up!

5.13 水

19:30-20:30



地域包括支援センター支援委員会では、地域包括支援センターで勤務する社会福祉士が集まり、各地域の情報交換や地域包括支援センター職員向けの研修の企画運営を行っています。

今回、仲間を増やしたく、委員会の説明会兼交流会を開催します。

「委員会の雰囲気を知りたい」「実際にどんなことをやっているの？」など、気になることを聞いて頂いたり、交流の機会になればと思います。

ぜひ気軽にご参加ください。地域包括支援センターに勤務されている方だけでなく、関心のある方も歓迎します♪

この機会に、横のつながりをつくりましょう！

Zoom ※事前申込み不要！下記IDで入室してください。

ミーティングID : 848 4937 8329

パスコード : 709546

初任者研修



*兵庫県介護支援専門員協会の
単位認定研修です。
*希望者には認定シール、
主任介護支援専門員更新研修
申込みのための履修証明書を
発行します。

Zoom開催

6月10日（水）9：30～16：45

（受付開始 9：10～）

地域包括支援センターの機能・役割や最新動向を学ぼう！

本研修では、センター業務の基本となる「総合相談支援業務」と「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」を中心に、制度や総合事業等の最新動向について、講義にグループワークを交えて理解を深めます。センターのあり方や役割、チームアプローチの重要性について学びましょう。

「初任者研修」ですが、中堅やベテラン職員の方にとっても、改めてセンターの業務や役割を振り返る機会、他センターの方との意見交換の場となりますので、経験年数にかかわらず、ぜひご受講ください。

対象者

- ・地域包括支援センター職員
（社会福祉士、保健師等、主任ケアマネジャー、その他の職種）
- ・サブセンター/ランチ職員 ・行政職員 等

講師

一般社団法人 コミュニティーネットハピネス
代表理事 土屋幸己氏

受講料

- ①全国社会福祉士会 会員/2,200円
- ②一般/5,500円

研修内容

【講義】「総合相談支援業務」「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」
【演習】グループワークによる意見交換

主催：一般社団法人 兵庫県社会福祉士会
地域包括支援センター支援委員会

申込方法は
次ページ参照



078-265-1330



entry@hacsw.or.jp

後援（予定）：兵庫県介護支援専門員協会 兵庫県看護協会

講師略歴

一般社団法人 コミュニティーネットハピネス 代表理事 土屋幸己氏

- 2006年4月～2015年9月 富士宮市福祉総合相談課長（兼）地域包括支援センター長
- 2015年10月～2019年3月（公益財団法人）さわやか福祉財団
- 2000年 日本社会福祉士会 第1期 成年後見人養成研修終了
- 2016年 認定社会福祉士登録
- 一般社団法人）成年後見支援センター「ぱあとなあ静岡」委員
- 公益社団法人）日本社会福祉士会 地域包括ケア推進委員会委員（高齢在宅班） ■公益社団法人）日本社会福祉士会 生活困窮者支援委員会委員 ■国際城西大学 兼任講師（2013年～） ■厚生労働省 地域包括ケア推進指導者養成研修企画委員（2010年～2012年） ■厚生労働省 安心生活創造事業推進委員会委員（2011年～2012年） ■厚生労働省 「生活困窮自立促進プロセス構築モデル事業」統括委員会委員（2013年） ■厚生労働省 「相談支援の質の向上に向けた検討会」構成員（2014年）
- 共著『「困難事例」を解きほぐす～多職種・多機関の連携に向けた全方位型アセスメント』現代書館、2021
- 共著『「多機関協働が動き出す」～全方位型アセスメントを使った困難事例の説きほぐし方』現代書館、2025

申込方法

※定員 60名

*申込者数が一定人数に満たない場合は、研修を中止することがあります。その際は、登録されたメールアドレスにご連絡します。

社会福祉士会の研修管理システム「manaable（マナブル）」に
兵庫県下記のURLかQRコードよりアクセスし、受講者登録してください。
登録後ログインをして、当研修にお申し込みください。

<https://hacsw.manaable.com/signup>



- *利用者登録には、メールアドレスが必要です。
- *基本は個人単位の利用者登録ですが、事業所での申込み、お支払いも可能です。（その場合は、代表者の設定、事業所の登録等が必要です。）
- *受講料の支払いは、銀行振込（手数料ご負担ください）、コンビニ払い、クレジットカード払いから選択できます。「manaable（マナブル）」よりお支払い手続きに進んでください。

注意事項

- *本研修はZoomを使用して行います。オンライン環境及びパソコンなどの機器が必要です。（安定したインターネット環境での受講を推奨いたします。）
- *本研修ではグループワークを行いますので、おひとり一台の機器をご用意ください。（一台で複数の方が受講することはできません。）
- *資料のダウンロードや研修当日のZoomへの入室も、「manaable（マナブル）」を利用します。（招待メール等はお送りしません。）

お問合せ先

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会



078-265-1330



entry@hacsw.or.jp

2026年度 社会福祉士実習プログラム作成支援研修

開催日時	会場	受講料	定員
2026年5月14日(木) 13:00~17:00 (12:50 受付開始)	兵庫県福祉センター2階203 (神戸市中央区坂口通2-1-1) JR灘・阪急王子公園から徒歩7分	社会福祉士会(全国)会員 2,200円(消費税込み) 社会福祉士会非会員4,400円	50名

【趣 旨】 新カリキュラムでの社会福祉士実習指導は、旧カリキュラムで学ばれた実習指導者もたくさん担当されています。実際に新カリキュラムでの実習を受入れる実習指導者に、旧カリキュラム「相談援助実習」からの変更点や「ソーシャルワーク実習」基本プログラムの作り方を修得していただき、実習生個別の実習プログラムが作成できるよう、対面での演習に参加していただきます。

【対 象】 社会福祉士養成の「ソーシャルワーク実習」プログラムに関心のある「社会福祉士」

- ・実習指導者講習会修了者(新・旧カリキュラムの別は問いません)
- ・今後の実習指導者講習会受講予定の方や施設長など

【申込方法】 兵庫県社会福祉士会ホームページから研修管理システム「manaable(マナブル)」にアクセスし、お申込ください。受付は先着順です。

受講の可否は順次 e-mail にて通知します(右記 QR コードからでも OK→)。

研修申込 URL: <https://hacsw.manaable.com/signup>

研修申込締切 2026年4月30日(木)

申込が一定数に満たない場合は、研修開催を中止することがあります。

「manaable」から受講料の請求書ならびに領収書がダウンロードできます。



【事前準備①】「新版 社会福祉士実習指導者テキスト 2022年4月30日発行 中央法規出版 (2800円税別)」を手元に置いて、P.112~ P.164(第3章実習プログラミング論 第1節~第4節)を通読してください。

【事前準備②】「自施設で提供できる『具体的な体験内容』一覧」を作成し印刷して当日2部ご持参ください。書式は「manaable(マナブル)」申込確定後(入金確認後)にダウンロードしていただきます。テキストP.134~ P.136や第5節のプログラム例などを参考にして作成ください。

【当日持参物】 筆記用具以外に、以下をご持参ください。

必須: **【事前準備①】**「新版 社会福祉士実習指導者テキスト」1冊

【事前準備②】「自施設で提供できる『具体的な体験内容』一覧」2部

任意: 自施設の実習プログラム2部(旧カリキュラム時のものでも構いません)

【研修内容(予定)】

演習では、「実習生の行動目標」達成のためのプログラムを伝わりやすい表現に手直しして、「SW実践の場の理解」、「SWrの理解」、「SW実践の理解」、「SW実践の発展的理解」の目標達成ごとに分類し、「新カリキュラム対応実習プログラミングシート」にあてはめていきます。

時間	2026年5月14日(木) 対面でのグループ演習
13:00~	オリエンテーション
13:10~13:30	① 【講義】 実習プログラミングの方法
13:30~14:30	② 【演習】 「実習生の行動目標」達成のための「具体的な体験内容」を挙げる
14:40~15:40	③ 【演習】 ②の表記を精査する
15:40~16:40	④ 【演習】 ③から各目標達成ごとの「具体的な実習内容」を設定する
16:40~16:50	まとめ・事務連絡

【問い合わせ先】 兵庫県社会福祉士会 事務局

〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3階

TEL:078-265-1330 FAX:078-265-1340 e-mail:entry@hacsw.or.jp

神	戸	ブ	ロ	ック	ク	
総	会	記	念	講	演	会

無料

人口減少社会における 社会福祉士の役割

2026年5月24日(日)

10:45~12:15

現地開催

第一部 10:00~10:30

神戸ブロック総会

第二部 10:45~12:15

上記、記念講演会

※講演会は神戸ブロック会員
以外の方も参加可能です。

第三部 12:25~15:00

昼食・懇親会 お弁当代
1,000円

会場 兵庫県福祉センター
1階(102-103)

お問い合わせ

kobe.block.fukushishikai@gmail.com

お申し込み



<https://forms.gle/fCVEcVQJcxpNx68r7>



講師 南 友二郎先生

桃山学院大学社会学部ソーシャルデザイン学科
准教授。

専門は社会福祉学で、地域を基盤としたソーシ
ヤルワーク、地域福祉、社会的企業をテーマに
研究を行う。地域福祉に関する著書・論文も多
数執筆。

【所属学会】

日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、
日本ソーシャルワーク学会

【社会活動】

- 大阪府障害者等の職場環境整備等支援組織
認定等審議会委員
- 「和泉市市民活動推進支援事業審査会」
委員長
- 社会福祉法人四恩学園評議員
- 桃山学院大学学生ボランティア団体
「Fiorei」設立運営支援
(社会福祉法人四恩学園との協働プロジェクト)

2026年度 阪神ブロック記念イベント・総会（ご案内）

○阪神ブロック所属の皆様はご出席のほどお願いいたします
（総会議案書は4月下旬に改めて送付予定です）

○記念イベントは「**尼崎城見学ツアー**」です。尼崎でお城活しませんか？
阪神ブロック以外の方や一般の方、お子さま連れなど歓迎いたします

○「**新入会員歓迎会&懇親会**」もぜひ、ご参加をお待ちしております



◆日時 **2026年5月24日（日）**

第1部「**尼崎城見学ツアー**」～気軽に城旅、尼崎城でちょっと歴史散歩～

時間：13時～15時 受付：12時30分～ 集合：尼崎城入口前

会場：尼崎城 尼崎市北城内 27 TEL 06-6480-5646

アクセス：阪神「尼崎駅」から南へ徒歩約5分

【定員：なし・参加費：大人500円・こども250円】



第2部 「**阪神ブロック総会**」

時間：15時30分～16時30分 受付：15時～

会場：尼崎市中小企業センターまたはZoomミーティング
尼崎市昭和通 2-6-68 TEL 06-6488-9501

アクセス：阪神「尼崎駅」から北へ徒歩約5分

【会場定員：先着順にて40名・オンライン定員：なし・参加費：無料】

第3部 「**新入会員歓迎会&懇親会**」

時間：17時～19時 受付：16時50分～

会場：鶏と釜めし完全個室 うずまき 阪神尼崎駅前店（阪神ONOビル3階）
尼崎市神田中通 2-27-47 TEL 06-6411-7570

アクセス：阪神「尼崎駅」から西へ徒歩約2分

【参加費4000円（90分飲み放題付き）】2025年度・2026年度の新入会員は歓迎会参加費補助あり！

※キャンセルは5月20日（水）まで可能（以降はキャンセル料がかかります）

※歓迎会&懇親会参加者のみ、欠席時の連絡先を個別でお伝えします。

◆申込方法：Googleフォームまたはメールにて申込（期限：5月15日（金）まで）

<https://forms.gle/mzckJlLepeJd1hYN9>



【メールにて申込の場合】

阪神ブロック事務局アドレス：miharasino_oka@yahoo.co.jp

①あなたの氏名、②電話番号、③メールアドレス、④記念イベントの参加希望、
⑤総会の参加希望、⑥懇親会の参加希望を記載し、上記のメールアドレスへ送信

⇒申込はこちら

2026年度 災害支援活動者 養成研修

一般教養コース



主催：（一社）兵庫県社会福祉士会

研修概要

災害対応の法制度、関係機関の役割、災害発生後からの福祉的ニーズの変遷、生活支援の実際を学び、ソーシャルワーカーの視点で災害支援ができるように、**オンデマンド講義の視聴（6科目）**により、災害支援の実際を学びます。 *2025年度に開催したものと同一内容です。

*社会福祉士会認証研修の単位取得が可能な「単位取得コース」（事前・事後課題、オンラインライブ研修あり）も開催しています。

対象 福祉専門職であり、福祉専門職の災害支援に興味がある方

受講料

- ・社会福祉士会会員（全国）11,880円（税込）
- ・非会員 23,760円（税込）

*申込者都合によるキャンセルは、返金できません。

オンデマンド講義配信

2026.6.1 月 ~ 8.21 金

研修プログラム

*講師略歴は「manaable」研修詳細ページの「カリキュラム」よりダウンロードできます。

科目	内容	講師
1	オリエンテーション	
2	福祉専門職による災害支援	福島県DWAT協議会会長 島野光正氏
3	日本社会福祉士会の災害支援活動と災害対応ガイドライン	日本社会福祉士会副会長 角山信司氏
4	大規模災害における福祉支援の変遷	兵庫県立大学大学院教授 阪本真由美氏
5	多様な災害支援団体とDWAT	大阪DWAT隊員 平井亜里砂氏
6	被災者支援のための制度と災害ケースマネジメント	弁護士 津久井進氏
7	避難行動要支援者支援	兵庫県社会福祉士会事務局長 西野佳名子氏

申込期間 2026.5.7 木 ~ 8.14 金

申込方法

兵庫県社会福祉士会の研修管理システム「manaable（マナブル）」にアクセスし、ログイン後、当該研修にお申込みください。

<https://hacsw.manaable.com/signup>

manaable新規登録



お問合せ

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会



078-265-1330



entry@hacsw.or.jp



2026年度 災害支援活動者養成研修

単位取得コース

主催：（一社）兵庫県社会福祉士会

災害対応・支援（分野共通）（分野専門／地域社会・多文化分野／ソーシャルワーク機能別科目群）
1単位（認証No.2025002） 高齢分野、障害分野、児童・家庭分野、医療分野での読み替え可能

研修概要

災害対応の法制度、関係機関の役割、災害発生後からの福祉的ニーズの変遷、生活支援の実際を学び、ソーシャルワーカーの視点で災害支援ができるように、**オンデマンド講義の視聴（6科目）とオンラインでのライブ研修**により、災害支援の実際を学びます。

*事前課題、事後課題あり

*オンデマンド講義は2025年度と同じ内容です。

対象 社会福祉士であり、社会福祉士の災害支援に興味がある方

受講料 ・社会福祉士会会員（全国）17,820円（税込）
・非会員 35,640円（税込）

*申込者都合によるキャンセルは、返金できません。

定員 60名

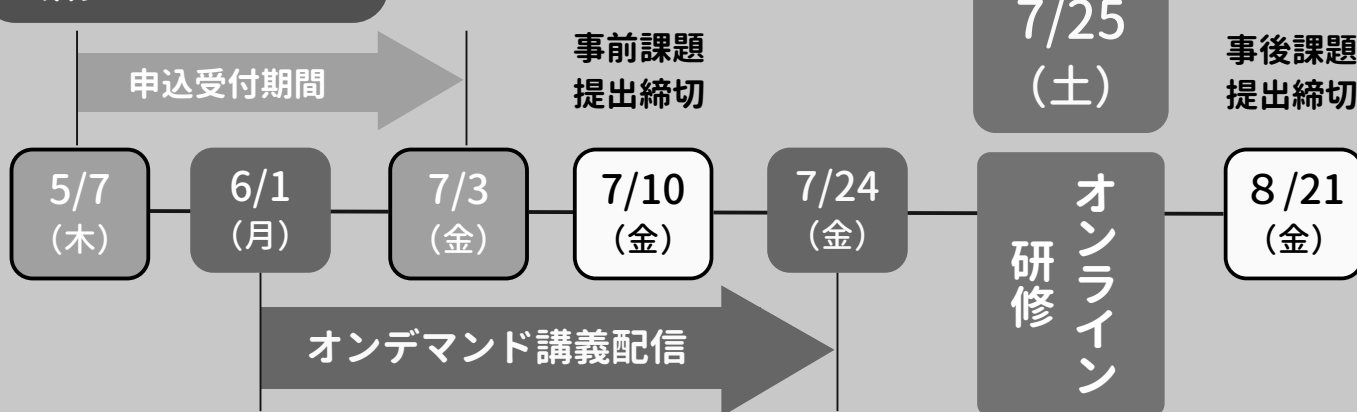
プログラム・修了要件 次ページ参照

申込方法 兵庫県社会福祉士会の研修管理システム「manaable（マナブル）」にアクセスし、ログイン後、当該研修にお申込みください。

<https://hacsw.manaable.com/signup>



研修スケジュール



*オンライン研修を受講するには、7月24日（金）までに、オンデマンド講義（6科目）の受講をすべて修了し、事前課題を提出することが必須要件となります（詳細は次ページ参照）。*講義の視聴は研修後も8月21日（金）まで可能です。

お問合せ

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会

☎ 078-265-1330

✉ entry@hacsw.or.jp

オンデマンド講義のみが受講できる「一般教養コース」も開催しています。（単位の取得はできません）

研修プログラム

オンデマンド講義配信

2026. 6.1 月 ~ 7.24 金

※講義の視聴は
8月21日（金）まで可能です。

	内容	講師
1	オリエンテーション	
2	【講義1】福祉専門職による災害支援	福島県DWAT協議会会長 島野光正氏
3	【講義2】日本社会福祉士会の災害支援活動と災害対応ガイドライン	日本社会福祉士会副会長 角山信司氏
4	【講義3】大規模災害における福祉支援の変遷	兵庫県立大学大学院教授 阪本真由美氏
5	【講義4】多様な災害支援団体とDWAT	大阪DWAT隊員 平井亜里砂氏
6	【講義5】被災者支援のための制度と災害ケースマネジメント	弁護士 津久井進氏
7	【講義6】避難行動要支援者支援	兵庫県社会福祉士会事務局長 西野佳名子氏

*講師略歴は「manaable」研修詳細ページの「カリキュラム」よりダウンロードできます。

オンライン研修

2026. 7.25 土 10:50~16:45

※10:30~受付開始

オンライン研修を受講するためには、

- ① 7月24日（金）までに上記のオンデマンド講義（6科目）を全て修了すること
- ② 7月10日（金）までに、事前課題を提出すること

が必要です。

時間		内容	講師
10:50~		オリエンテーション	
11:00~ 12:30	8	【講義・演習7】避難所の実際 (避難所生活と避難所運営の課題について)	神戸学院大学 伊藤隆博氏
13:20~ 14:50	9	【講義・演習8】福祉専門職による災害支援の実際Ⅰ (災害支援活動における積極的ニーズ把握・アセスメントについて)	大阪DWAT隊員 澤村さおり氏
15:00~ 16:30	10	【講義・演習9】福祉専門職による災害支援の実際Ⅱ (アセスメントシート・企画シートを使った住民主体のネットワーク づくりについて)	大阪DWAT隊員 澤村さおり氏
16:35~		修了式	

*講師略歴は「manaable」研修詳細ページの「カリキュラム」よりダウンロードできます。

修了要件

- 1) 事前・事後課題を提出し、合格すること
- 2) 事前のオンデマンド講義視聴をオンライン研修前までにすべて視聴し、
オンライン研修を受講すること（15分以上の遅刻・早退・途中退席は未修了となります）

事前課題

7月10日（金）までに下記の課題を作成し、manaableを通じて提出してください。
「受講者の在住または職場のある市町村の地域防災計画を調べ、避難所や福祉避難所の
場所を確認し、避難所の運営方法をまとめる」（800~1,000字）

事後課題

8月21日（金）までに下記の2題を作成し、manaableを通じて提出してください。
1. 「災害発生後の被災者ニーズの変化と社会福祉士の発揮すべき専門性について」
2. 「災害ソーシャルワークにおけるニーズ把握やアセスメントの実際について」
(各800~1,000字)

オンデマンド講義

【講義1】福祉専門職による災害支援

講師：福島県DWAT協議会会長 島野光正氏

略歴：郡山女子大学家政学部生活科学科 准教授。

元郡山医師会郡山市医療介護病院事務部長（退職時）。元福島県社会福祉士会会長。
元日本社会福祉士会副会長。福島県広域災害福祉支援ネットワーク協議会会長。
日本災害福祉研究会理事。

【講義2】日本社会福祉士会の災害支援活動と災害対応ガイドライン

講師：日本社会福祉士会副会長 角山信司氏

略歴：社会医療法人仁愛会システム統括課課長。

東日本大震災の際は災害医療派遣チーム（沖縄DMAT）のロジスティックとして活動に従事。
沖縄県総合防災訓練、自衛隊との合同訓練や沖縄空港緊急災害訓練等へDMATとして参加。

【講義3】大規模災害における福祉支援の変遷

講師：兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授 阪本真由美氏

略歴：専門は、減災コミュニケーション、防災教育、地域防災。

人と防災未来センター主任研究員、名古屋大学減災連携研究センター特任准教授を経て現職。
ひょうご震災記念21世紀研究機構理事。全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
(JVOAD) 理事・運営委員として官民連携による被災者支援にも取り組んでいる。
中央防災会議委員。

【講義4】多様な災害支援団体とDWAT

講師：大阪DWAT隊員 平井亜里砂氏

略歴：障がい、児童、高齢、医療分野で社会福祉士として現場経験を積んだのち、厚生労働省
DMAT事務局員として災害医療支援、コロナ支援に携わる。

能登半島地震では大阪DWAT隊員として活動。

現在は災害福祉研究を継続しつつ、関西学院大学人間福祉学部にて社会福祉士養成に従事。

【講義5】被災者支援のための制度と災害ケースマネジメント

講師：弁護士 津久井進氏

略歴：日弁連災害復興支援委員会元委員長・近畿災害対策まちづくり支援機構事務局次長・
兵庫県震災復興研究センター共同代表。

著書：「Q&A 被災者生活再建支援法」商事法務 2011年5月出版

「大災害と法」岩波新書 2012年7月出版

「災害ケースマネジメント ガイドブック」合同出版 2020年1月出版

【講義6】避難行動要支援者支援

講師：兵庫県社会福祉士会事務局長 西野佳名子氏

略歴：2018年度より兵庫県避難行動要支援者支援研修の企画運営に従事。加古川市防災会議委員。
神戸学院大学総合リハビリテーション学部非常勤講師。

著者：i-BOSAIブックレット№3「誰一人取り残さない防災に向けて、福祉関係者が取り組むべき
こと―物語編―」萌書房2022年発行

i-BOSAIブックレット№4「誰一人取り残さない防災に向けて、福祉関係者が取り組むべき
こと―演習解説編―」萌書房 2022年発行

オンライン研修

【講義・演習7】避難所の実際（避難所生活と避難所運営の課題について）

講師：神戸学院大学総合リハビリテーション学部准教授 伊藤隆博氏

略歴：大学卒業後、MSWとして済生会滋賀県病院、伊勢赤十字病院などに勤務しつつ、災害派遣医療チーム（DMAT）の業務調整員としても活動。岩手県立大学社会福祉学部准教授を経て現職。DWAT養成研修に多数出講。

著書：「事例から学ぶDWATによる災害福祉支援」みらい 2025年秋発行

【講義・演習8】福祉専門職による災害支援の実際Ⅰ

（災害支援活動における積極的ニーズ把握・アセスメントについて）

【講義・演習9】福祉専門職による災害支援の実際Ⅱ

（アセスメントシート・企画シートを使った住民主体のネットワークづくりについて）

講師：大阪DWAT隊員 澤村さおり氏

略歴：池田市社会福祉協議会地域福祉課課長。

同志社大学社会福祉学専攻卒業後、池田市社会福祉協議会に入職。入職後、ボランティア・地域包括支援センター等担当し、現在地域福祉課勤務。

東日本大震災では日本社会福祉士会地域ネットワーク再構築事業として、大槌町包括にて仮設住宅での自治組織立ち上げ支援に参加。熊本地震・西日本豪雨・大阪北部地震・能登半島地震にて、社会福祉士会の支援活動に従事。



研修のねらい

本研修はDWAT養成研修ではありません。DWAT隊員の中でも連絡調整のプロである社会福祉士の役割は重要であることから、DWAT養成研修では触れられない内容を重視し、DWAT隊員の方にもこれからDWAT登録をする方にも受講いただけるようプログラムしました。各分野から新しい話題提供をいただき、被災地の実情や災害支援の実際を感じてください。

災害対応の法制度、関係機関の役割、災害発生後からの福祉的ニーズの変遷、生活支援の実際を理解し、ソーシャルワーカーの視点で災害支援ができるようになることが到達点です。

*オンデマンド講義は2025年度と同じ内容です。



お問合せ

令和8年度

医療的ケア児等支援者養成研修【前期】

医療的ケア児が増加している状況を踏まえ、地域において必要な支援を受けることができるように、関係機関との連携調整を行うための体制を整備することを目的に、国が定めるカリキュラムに基づく研修を実施します。

また、「要医療児者支援体制加算」のためには、「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」を修了した職員配置が必要になり、「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」を受講するためには、本研修の修了が必須となります。

オンデマンド 配信

視聴期間内は、いつでも、
どこでも、何度でも
視聴可能です！

視聴（受講）期間

※前期・後期どちらも研修内容は同じものです。
後期の開催時期は11月頃を予定しています。
後期の受付は6月1日（月）から開始します。

6月1日(月)～6月30日(火)

1. 受講対象



兵庫県内在住または在勤の者で、地域の事業所等にて医療的ケア児等の支援従事者（予定含む）

例）相談支援専門員、行政職員、訪問看護師、児童発達支援管理責任者、障害福祉サービス事業所従業者、医療機関等従業者、保育所・幼稚園・学校・特別支援学校等で医療的ケア児に関わる者など
＝医療的ケア児や家族等への支援に関心のある方であれば、職種を問わず受講可能です。

その他、詳細については、
次頁をご確認ください。



2. 研修内容 約 15 時間



- 【総論】①地域におけるこどもの発達と支援 ②医療的ケア児等支援の特徴
③支援に必要な概念 ④医療的ケア児とその家族に対する支援に関する法律
- 【医療、保健】
①障害のあるこどもの成長と発達の特徴 ②疾患の特徴 ③生理
④日常生活における支援（感染対策、摂食嚥下、口腔ケア）
⑤救急時の対応、災害対策支援 ⑥母子保健 ⑦訪問看護の役割と仕組み
- 【福祉、保育、教育、労働】
①本人・家族の思いの理解 ②支援の基本的枠組み ③福祉 ④遊び・保育
⑤教育 ⑥労働 ⑦家族支援（きょうだい児支援・就労支援） ⑧虐待防止対策
- 【連携】①小児在宅医療における多職種連携 ②連携・協働の必要性
- 【ライフステージにおける支援】
①各ライフステージにおける相談支援に必要な視点 ②NICUからの在宅移行支援
③児童期における支援 ④学齢期における支援 ⑤移行期における支援 ⑥成人期における支援
⑦医療的ケアの必要性が高い子どもへの支援

3. 受講料



2,000 円 ※テキスト代別（約 3,000 円）

- ・参考テキスト「医療的ケア児等支援者養成研修テキスト(中央法規出版)」の購入案内については受講決定通知の際にお知らせします。既にお持ちの方は追加購入の必要はありません。
- ・当該研修の受講料は、非課税です。消費税の取り扱いは不要ですので、ご承知おきください。

4. 修了要件



講義動画を全て視聴するとともに、6 月 30 日（火）23：59 までに事後課題を提出し、合格すること。
修了者には当該研修の修了証を発行し、送付します。

5. 申込方法



5 月 29 日（金）までに、下記の URL か二次元コードにアクセスし、必要事項を入力し、お申し込みください。※締切日以降の申込受付は行いません。受講希望の方は期日までにお申し込みください。

URL：<https://forms.gle/wF5AaPfDxtxgGady8>



一事業所から 10 名分まで、一つのフォームからお申し込み可能です！
10 名以上お申し込みされる場合は、お手数をおかけしますが、フォームを分けてお申し込みください。

【お問い合わせ】

兵庫県社会福祉士会事務局 078-265-1330 担当：胡中 konaka@hacsw.or.jp
できるだけメールにてお問い合わせください。その際は、件名に「医療的ケア児等支援者養成研修に関する問い合わせ」と明記し、署名を必ずつけてください。

◆兵庫県社会福祉士会 こども家庭支援委員会主催◆

『スクールソーシャルワーク』を学ぶSSW研修 (オンライン開催)

※本研修は認証研修ではありません

日々のスクールソーシャルワークの実践のなかで生まれる葛藤や迷いは、専門性を磨く大切な機会です。本研修では、スクールソーシャルワークの理論や支援に必要な関係機関との連携、支援の展開方法について理論と実践を往還しながら支援の質を高める視点を学びます。そこにはスクールソーシャルワークの価値があり、それが実践力につながっていきます。ぜひ、ともに学びましょう！

■開催日 2026年6月20日(土) 10:00～ オンライン

■定員 50人

■受講料 会員 7,000円(税込) 非会員 14,000円(税込)

■当日のスケジュール■

時間	内容	講師
10:00～10:10	オリエンテーション	
10:10～11:40	「要対協の活用と連携」(講義・演習)	福田 公教 氏 (関西大学 人間健康学部)
11:45～12:45	昼食休憩	
12:45～14:15	「スクールソーシャルワークの理論とエビデンスに基づく効果的な支援」(講義・演習)	大塚 美和子 氏 (神戸学院大学 総合リハビリテーション学部)
14:30～16:00	「事例からスクールソーシャルワーカーの支援展開を学ぶ」(講義・演習)	高橋 味央 氏 (大阪教育大学 総合教育系教育心理学部門)
16:00～16:05	オリエンテーション	

■申込

下記 URL または参加申込コードを読み取り、兵庫県社会福祉士会研修管理システム「マナブル」に新規登録またはログインし、当研修にお申し込みください。

兵庫県社会福祉士会「manaable(マナブル)」

URL : <https://hacsw.manaable.com/signup>

■申込締切：6月7日(日)

申込が一定数に満たない場合は、研修開催を中止することがあります。

■問い合わせ先：一般社団法人 兵庫県社会福祉士会

TEL : 078-265-1330 Mail : entry@hacsw.or.jp



2026年度 滞日外国人ソーシャルワーク研修

分野専門/地域社会・多文化/ソーシャルワーク機能別科目群/1 単位/認証番号 20160008

研修のねらい

複雑な生活課題を抱えながら地域で暮らす滞日外国人の方々に対して、ソーシャルワーカーはどのような支援ができるのか。本研修では「多文化共生」をキーワードに滞日外国人支援の視点とあり方を学び、滞日外国人の生活課題を理解し、潜在的ニーズを把握し、支援計画を立てるソーシャルワーク実践力を身につけることを目指します。

1. 日時 2026年8月29日(土)・30日(日)

2. 実施方法 Zoom ミーティングによるオンライン研修

3. プログラム

1日目 2026年8月29日(土)

2日目 2026年8月30日(日)

10:00~ 10:10	オリエンテーション 全体司会 兵庫県社会福祉士会 谷口 智昭 氏				
10:10~ 11:20	講義① 「現代日本における多文化ソーシャルワークの 必要性」 講師：調整中				【演習】(1)～(4)のテーマ別に、事例を通して、 福祉的支援のあり方について検討します。
11:20~ 11:30	休憩(10分)	9:30~ 12:00			(1)生活困窮・生活保護分野 (生活困窮者支援・生活保護機関等における滞日外国人支援等) 講師：髯本 郁 氏 (NGO神戸外国人救援ネット、 NPO法人神戸の冬を支える会)
11:30~ 13:00	講義② 「在留資格の基礎知識」 講師：原口 美佐代 氏 (学校法人佐藤学園 大阪バイオメディカル専門学 校 医療福祉心理学科)				(2)女性保護分野 (外国籍DV被害者への支援等) 講師：村西 優季 氏 (NGO 神戸外国人救援ネット)
13:00~14:00	休憩(60分)	12:00~13:00			(3)教育・児童分野 (外国人児童生徒等への対応、難民家庭の子ども支援等) 講師：中尾 美樹 氏 (NPO 法人 IKUNO 多文化ふらっと)
14:00~ 15:30	講義③ 「外国人に適用される社会保障 福祉サービスの現状」 講師：大川 昭博 氏 (移住者と連帯する全国ネットワーク)	13:00~ 14:00		全体会 ・各分科会の報告	(4)介護分野 (外国人高齢者への対応) 講師：フフデルグル氏 (神戸定住外国人支援センターゼネラルマネージャー)
15:30~15:40	休憩(10分)	14:00~14:10			休憩(10分)
15:40~ 16:40	講義④ 「多文化ソーシャルワークと共生社会の実現」 ー滞日外国人と医療・その変遷と現状ー 講師：髯本 郁 氏 (NGO 神戸外国人救援ネッ ト・NPO法人神戸の冬を支える会)	14:10~ 16:30			講義⑥ 「多文化共生のコミュニティづくり」 講師：ブラー・ボンキワラシ 氏 (NPO 法人 CHARM) 鄭 秀珠氏 (デイサービスセンターハナの会管理者)
16:40~ 16:50	休憩(10分)				
16:50~ 17:50	講義⑤ 「滞日外国人ソーシャルワーク実践 ーやさしい日本語と通訳者との連携」 講師：調整中	16:40			2日目終了、事務連絡・閉会
18:00	事務連絡・1日目終了				

4. 受講対象 以下の①または②を満たす者、③については必須です

①社会福祉士であること

②滞日外国人支援に関わっている方、もしくは関心のある方

③インターネット環境があり、Zoomによる受講が全科目可能な方

※社会福祉士資格がなくとも受講することができますが、認証研修としての単位は取得できません。

本研修修了後に社会福祉士資格を取得したとしても、遡って単位取得することはできないのでご注意ください。

5. 定員 60名

※申込者が少数の場合には研修を開催しないこともありますのでご了承ください。

6. 修了条件 以下①、②を両方とも満たす者

①2日間の研修を受講すること（15分以上の遅刻・早退・途中退室は未修了となります）

②事後課題（レポート）を提出し、合格すること

*認証研修の単位が不要な場合は事後課題の提出の有無は問いません

7. 申込期限 2026年8月7日（金）

8. 申込方法 下記の方法でお申し込みください。

<https://forms.gle/wBeJFJ9pW87fdqFW6>



上記URLから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

※自動返信メールが届いたら、申し込みが完了したとご理解ください。

※自動返信メールが届かない場合は、事務局までお問い合わせください。

【2日目演習について】演習はテーマ別に4つの分科会に分かれて行います。

申込書記載欄に、第1希望、第2希望を必ずチェックしてください。

9. 受講費

（料金区分）

- | | |
|---|---------------|
| (1) 都道府県社会福祉士会会員 | (2日間) 8,800円 |
| (2) 都道府県社会福祉士の会員以外の方 | (2日間) 17,600円 |
| (3) (1)以外で、滞日外国人支援業務に従事し、かつ所属組織の公印があるもの | (2日間) 8,800円 |

10. 受講可否について

開催確定後、文書にて通知します。（8月初旬以降）

併せて、受講案内、受講費の納入方法等についてご案内します。

※参考文献

『滞日外国人支援の実践事例から学ぶ 多文化ソーシャルワーク』 日本社会福祉士会編集、中央法規出版

『滞日外国人支援基礎力習得のためのガイドブック（A4判）』 社団法人日本社会福祉士会編集

https://www.jacsw.or.jp/citizens/josei/documents/2018/tainichi/guide_A4.pdf

『外国人の医療・福祉・相談ハンドブック』 移住者と連帯する全国ネットワーク 明石書店

【問い合わせ】兵庫県社会福祉士会 事務局 中村

〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3F

TEL:078-265-1330 FAX:078-265-1340

e-mail:entry@hacsw.or.jp

投稿募集！



研究誌

『兵庫社会福祉士』

- 社会福祉士の実践を重視
- 投稿区分は「実践研究」と「実践報告」
- 実践を振り返り、言語化し、共有する場として活用

執筆要領などの詳細は、
本会ホームページをご確認ください。

URL

<https://www.hacsw.or.jp/training/research-journal/>

投稿締切：9月30日必着

一般社団法人兵庫県社会福祉士会

調査研究委員会



社会福祉士

実践発表会

2026 年度

発表者募集！

2027年1月9日（土）

13：45～16：45

Zoom 開催

「気軽に実践を発表できる場」、「仲間の実践を聞く場」として、今年も実践発表会を開催します。

これまでに取り組んだ実践をまとめて発表したいという方、基礎研修Ⅱの課題として実践研究に取り組んだ方の応募をお待ちしています。

発表枠：実践研究もしくは実践報告

発表申込要領：

①**2026**年度実践発表会発表申込書、②発表要旨原稿（実践研究もしくは実践報告）、③実践発表会発表原稿申込自己チェックリスト を記入添付し、期限までにお申し込みください。詳細は本会ホームページに掲載します。

発表申込期限（抄録等提出期限）：10月31日【土】

* 別途参加申込が必要です（参加申込詳細はこのとおり通信秋号にて）。

* 審査を経て発表者を決定します。

* 発表会参加者（発表者含む）が、最少催行人数**27**人を下回る場合には開催が中止となります。予めご了承ください。



主催
兵庫県社会福祉士会
調査研究委員会

「委員会活動に参加してみたいけれど、きっかけがなくて…」と思っている方、必見!

委員会活動を見学してみませんか?

委員会活動の様子を見学してみませんか?新たな仲間と出会うチャンスです♪参加資格は、「興味・関心がある」でOK!どなたでも参加いただけます。

下記、見学申込書に必要事項を記入の上、兵庫県社会福祉士会事務局までメールまたはFAXでお申し込みください。



兵庫県社会福祉士会事務局 行

FAX 078-265-1340 E-mail entry@hacsw.or.jp

委員会見学申込書

調査研究委員会	実習教育支援委員会
国家試験対策委員会	独立型社会福祉士支援委員会
広報委員会	障がい福祉委員会
ソーシャルワーク研究委員会	更生支援委員会
高齢者・障害者虐待対応委員会 <small>※委員会参加には要件があります</small>	地域移行支援委員会
地域包括支援センター支援委員会	生活困窮者支援委員会
こども家庭支援委員会	災害福祉支援委員会

※見学を希望する委員会に○を付けてください(複数選択OK!)

ふりがな	会員番号
氏名	
電話番号 <input type="checkbox"/> 自宅・携帯 <input type="checkbox"/> 勤務先	※ 日中連絡のつく番号
メールアドレス <input type="checkbox"/> 自宅・携帯 <input type="checkbox"/> 勤務先	
勤務先(任意)	
委員会への質問事項等 (任意)	

後日、委員会担当者から直接ご案内いたします。

お問い合わせ先

兵庫県社会福祉士会事務局 TEL 078-265-1330



一般社団法人 兵庫県社会福祉士会
このとり通信 No.126

2026 Spring

発行：一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 広報委員会
住所：〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター 3階
電話：078 (265) 1330
Fax：078 (265) 1340
印刷：小野高速印刷株式会社